

地方創生ＳＤＧｓローカル指標リスト

2019年4月版（暫定版）

自治体ＳＤＧｓ推進評価・調査検討会

＜自治体ＳＤＧｓ推進のためのローカル指標検討WG＞

1 本資料の位置づけ（地方創生 S D G s ローカル指標の必要性）

3 1 自治体 S D G s における指標（インディケーター）の整備現状

4 S D G s に取り組む全国の自治体から目標達成に向けた進捗状況を計測するための指標に関する情
5 報提供の要望が多数寄せられております。これらの要請を受け、一般財団法人建築環境・省エネルギー
6 機構内では、自治体 S D G s 指標検討委員会を設置し昨年 3 月に、「私たちのまちにとっての S D G s
7 （持続可能な開発目標）一進捗管理のための指標リスト— 2018 年 3 月版（試行版）」を発表し、自治
8 体関係者からの意見等の収集を行っております。

9 現在、多くの自治体が S D G s 導入の取組を開始した段階にあります。今後取組の進展とともにその
10 進捗管理が問題になりますが、指標が整備されていないため、自治体が困難に直面する事態の発生する
11 ことが懸念されます。

12 内閣府においては 2018 年度から「S D G s 未来都市」プログラムがスタートし、現在 2 回目の選考
13 が進行中です。このプログラムにおいても、応募や選考の段階で、指標の考え方が整理されていないこ
14 との問題点や、その整備の重要性が指摘されています。

15 本資料は、S D G s に取り組む多くの自治体の利用を考慮して、上記の資料等を参考にして指標の事
16 例をまとめた形で紹介するものです。

17 自治体や地域企業をはじめとする多くのステークホルダーによる S D G s の取組において、共有できる
18 指標が存在することの意義は大変大きいものです。指標の未整備は今後の自治体 S D G s 推進における障
19 害となり得ますので、国による自治体レベルの指標の利用に関する統一見解が示されることが求め
20 られています。

22 2 S D G s における 3 層構造による進捗管理と自治体の取組

23 S D G s はゴール（意欲目標）、ターゲット（達成目標）とインディケーター（指標）の 3 層構造で構
24 成されています。その構造を図 1 に示します。

25 ゴール 3 「健康」を例にして比喩的に説明すれば、ターゲットの一つが「肥満防止」、指標の一つが
26 「BMI（の許容値）」という位置づけになります。

27 S D G s の最大の特徴の一つが、指標を設けて進捗度を定量的に測り、進捗管理のガバナンスの徹底
28 を図っている点であります。その意味でも、地方創生の一層の推進のために指標の整備が必須であると
29 いえます。

30 国連による 232 の指標は、グローバルな視点から提示されているもので、必ずしも日本の国レベルや
31 自治体レベルにおける S D G s の取組で使いやすいものとはなっていません。その事例を注 1^{*}に示し
32 ます。そのため、日本の国情を反映した国レベル、自治体レベルでの指標の整備が望まれます。自治体
33 レベルの指標は、一般に「地方創生 S D G s ローカル指標（以降適宜、ローカル指標,Local Indicator:LI
34 と略記）と呼ばれています。

35

* 注 1：ゴール 1 は「貧困」。ターゲット 1.1 は「極度の貧困（1.25 ドル／日未満で生活する人）の根絶」。指標 1.1.1 は「1.25 ドル／日で生活する人口割合」。この貧困レベルの指標は低すぎて日本に適用することは適切でないし、そのような統計データも整備されていない。ゴール 1 には 7 つのターゲットと 14 の指標が提示されているが、日本で利用可能な指標は見当たらない。

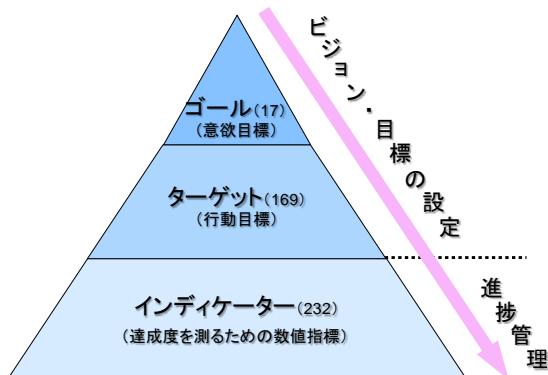


図1 SDGsの3層構造

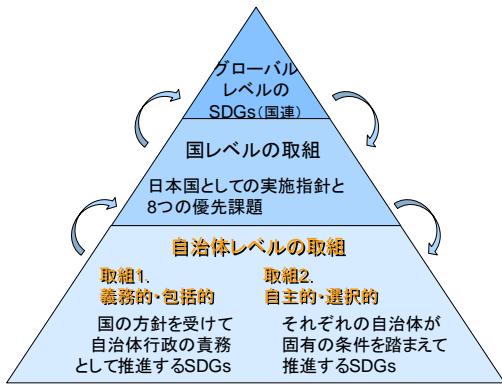


図2 自治体SDGsの取組

1 自治体SDGsの取組を、グローバルレベル、国レベルと関連づけて図2に示します。図2
 2 に示すように、自治体レベルの取組は義務的・包括的取組と自主的・選択的取組の2タイプ
 3 に分類することが可能であり、自治体SDGs向けの指標のデザインに際しては、この点に
 4 配慮することが必要です。

5

6 3 自治体SDGsにおける共通指標と独自指標

7 自治体SDGsの取組においては、政策目標／達成目標が提示されます。目標の進捗管理
 8 指標の設定、利用に際しては、次の2つの視点に留意する必要があります。

- 9 1 国の視点：全国の自治体が共通に関心のある課題について、自治体にとって使いやす
 10 い全国共通の指標を提示すること。
 - 11 2 自治体の視点：国が提示する指標を利用すると同時に、それらに含まれない自治体独
 12 自の立場や目標を評価することのできる指標を設定すること。
- 13 それぞれ、ここでは共通指標と独自指標と呼びます。

14

15 共通指標

- 16 1 全国の自治体の取組を共通の尺度で評価できる指標
 - 17 • 全国自治体の横並びの評価、比較が可能であり、全国自治体の実態把握に有効です。
- 18 2 全国的に公開されて利用可能なデータに基づく指標
 - 19 • 現時点では、自治体レベルで整備、公開されて利用可能なデータは十分とはいえないませ
 20 ん。
 - 21 • 公開データに限定される場合、自治体の取組の実態を把握するのに適した指標を設定
 22 できるとは限らないです。逆にいえば、自治体の実態を把握するため、必要な指標を
 23 提案しても、公開データが整備されていないので設定困難なことが発生します。
 - 24 • 公開データ未整備のため適切な指標の設定が困難な場合、公開データの利用可能な範
 25 囲で、それに準ずる指標が設定されることもあり得ます。
 - 26 • その意味で、公開データの整備はSDGsの推進のために緊急性が高いです。
- 27 3 自治体は、自身の達成目標に基づいて、その進捗を測るのに適切な指標を選択します。

1 4 自治体では行政における達成目標に優先順位が当然あると思いますが、同様に利用
2 される共通指標にも優先順位が発生することがあります。その場合、必須指標、選
3 択指標などの形で指標の選択に優先順位を設定することが考えられます。

4

5 独自指標

6 1 共通指標に含まれない指標でも、自治体が達成を目指す目標に対して、独自に指標を
7 設定することは当然可能であり、ここではこれを独自指標と呼びます。

8 ・独自指標では、全国的に公開されたデータに基づくことを条件とする必要はありません。

9 ・この場合、尺度が共通にならないので、他自治体との横並びの比較は困難になります。

10 2 自治体独自のビジョンと独自指標

11 ・自治体に対しては独自性のある地域計画の立案が求められています。独自指標の提案
12 はこれと表裏をなすものです。

13 ・自治体が独自のビジョンに基づいて達成目標を細かく設定した場合、それを測るため
14 の指標は独自指標となるケースが多いものと想定されます。

15 なお、本資料は、共通指標の事例を紹介するものです。

16 また、S D G s 未来都市においては、個々の自治体が地域固有の課題を抽出し、自治体
17 が独自指標を設定の上、取組の進捗管理を図っています。このように、独自指標を基に、
18 地域課題解決に向けた取組の推進をすることが一層加速されることが重要です。

19

20 4 アクションプログラムとフォローアップ

21 S D G s の取組ではアクションプログラムの提示と継続的なフォローアップが重視され
22 ています。これらはある意味で進捗管理の見える化で、そのための主要なツールが指標とな
23 ります。指標設定の背景となる社会情勢は変化するので、継続的な見直しによる指標の維持
24 管理が求められます。

25

26 5 まとめ

27 自治体からの指標整備に関する要請が一層高まることを踏まえ、自治体レベルでのS D
28 G s の取組の進捗管理のための指標の早急な提示が望まれます。国連におけるグローバル
29 指標の策定にあたっても、現在継続的な見直しが進んでいます。

30 こうした中、今回、自治体S D G s 推進のためのローカル指標検討WG第一版を発表致し
31 ますが、グローバル指標の継続的な見直し等の状況も注視しつつ、自治体関係者、民間企業、
32 市民、有識者をはじめ関係各分野からのご意見を踏まえ継続的に見直しを実施して参りま
33 す。またその成果を、国連のH L P F 等で広く各国に紹介されることが期待されます。

34

35

36

37

1 地方創生 S D G s ローカル指標リスト（ローカル指標リスト）

2. ローカル指標リストの見方

3 次頁以降に示すローカル指標リストは、自治体における S D G s の取組の進捗状況を計
4 測する際に使用することを目的に、暫定版として提案するものです。各自治体の政策目標、
5 達成目標の内容と照らし合わせて利用可能なものがあればご参照ください。

6 以下の図に示すように、次頁以降の見開き左手側のページには S D G s の 17 のゴール、
7 169 のターゲット、232 のグローバル指標を原文のまま掲載しています。

8 見開き右手側のブルーのページには、日本の自治体レベルで 232 のグローバル指標に対
9 応させ得るローカル指標を掲載しています。出典やデータの入手可能性も指標毎に明記し
10 ています。また、人口や世帯数等、ローカル指標リストの中で頻出するデータの出典はリス
11 ト末尾にまとめて示します。

ゴール	ターゲット	グローバルインディケーター	ローカル指標 (LI) (案)	データ入手可能性	データソース
...	○
			○

13
14 
15 図. 地方創生 S D G s ローカル指標リストの構成

2. 指標リスト利用時の留意事項

18 グローバル指標の中には包括的な表現をしたものも数多くあり、それに対応するローカ
19 ル指標を 1 つに限定しづらいケースもあります。そこで、1 つのグローバル指標に対して、
20 複数のローカル指標が示されているケースがあります。この場合、利用する主体が各自の趣
21 旨に最も合致するものを選択して利用することが期待されています。

22 今回の暫定版ではグローバル指標に対応するローカル指標がまだ設定できていないもの
23 もあります。ローカル指標の設定に向けて今後も引き続き関係府省庁等の所管する統計や
24 その他の組織が有するデータベースを検索していく必要があります。

25 進捗状況の管理に使用される指標については、各国や各地域の固有の条件を踏まえて策
26 定される独自の指標で補完してもよいという柔軟なシステムを取っておられます。

27 また、ローカル指標の中には、一部グローバル指標との対応関係が薄いものも含まれてい
28 る点にもご注意ください。公開統計データが限られていることからやむを得ず苦労して関
29 係性を見つけ出し指標を提案しているケースもあります。その意味で、現時点では十分に整
30 備されていない指標も含まれています。これらの点についても今後幅広い関係者の皆様の
31 参画のもとで改良案が検討され、修正、追加、削除等の作業が続けられることが期待されて
32 います。



Goal 1「貧困をなくそう」

ゴール	ターゲット	グローバルインディケーター
Goal 1. 絶対的貧困をなくす Goal 1. めぐらすの場所のあらゆる形態の貧困を終わらせん Goal 1. End poverty in all its forms everywhere	<p>1.1 2030 年までに、現在1日 1.25 ドル未満で生活する人々と定義されている極度の貧困をあらゆる場所で終わらせる。 By 2030, eradicate extreme poverty for all people everywhere, currently measured as people living on less than \$1.25 a day</p>	<p>1.1.1 國際的な貧困ラインを下回って生活している人口の割合(性別、年齢、雇用形態、地理的ロケーション(都市/地方)別) Proportion of population below the international poverty line, by sex, age, employment status and geographical location (urban/rural)</p>
	<p>1.2 2030 年までに、各国定義によるあらゆる次元の貧困状態にある、全ての年齢の男性、女性、子供の割合を半減させる。 By 2030, reduce at least by half the proportion of men, women and children of all ages living in poverty in all its dimensions according to national definitions</p>	<p>1.2.1 各国の貧困ラインを下回って生活している人口の割合(性別、年齢別) Proportion of population living below the national poverty line, by sex and age</p>
	<p>1.3 各国において最低限の基準を含む適切な社会保護制度及び対策を実施し、2030 年までに貧困層及び脆弱層に対し十分な保護を達成する。 Implement nationally appropriate social protection systems and measures for all, including floors, and by 2030 achieve substantial coverage of the poor and the vulnerable</p>	<p>1.3.1 社会保障制度によって保護されている人口の割合(性別、子供、失業者、年配者、障害者、妊婦、新生児、労務災害被害者、貧困層、脆弱層別) Proportion of population covered by social protection floors/systems, by sex, distinguishing children, unemployed persons, older persons, persons with disabilities, pregnant women, newborns, work-injury victims and the poor and the vulnerable</p>

本頁以降、見開き左手のページには、SDGsの 17 のゴール、169 のターゲット、および約 230 のグローバルインディケーターの和訳と原文を示しています。

1 つのゴールに対して複数のターゲットが設定されています。また、1 つのターゲットに対して 1 つあるいは複数のグローバルインディケーターが設定されています。

ローカル指標(LI)(案)		データ入手可能性	データソース
LI 1.1.1	相対的貧困世帯割合 (・100万円未満の世帯／全世帯 ・200万円未満の世帯／全世帯 ・300万円未満の世帯／全世帯 ・400万円未満の世帯／全世帯 ・500万円未満の世帯／全世帯)	市区町村	総務省 「住宅・土地統計調査」 http://www.stat.go.jp/data/jyutaku/2013/tyousake.html
LI 1.2.2	指標候補を調査中		
LI 1.3.1.1	被保護世帯割合 (被保護世帯／全世帯)	都道府県	厚生労働省 「被保護者調査」 http://www.mhlw.go.jp/toukei/list/74-16.html
LI 1.3.1.2	被保護者割合 (被保護者／総人口)	都道府県	厚生労働省 「被保護者調査」 http://www.mhlw.go.jp/toukei/list/74-16.html
LI 1.3.1.3	平均保護受給期間	都道府県	厚生労働省 「被保護者調査」 http://www.mhlw.go.jp/toukei/list/74-16.html

本頁以降、見開き右手のページには、SDGsのグローバルインディケーターに対応するローカル指標を示しています。ローカル指標の候補となるものが存在する場合は、その指標値の計算に必要なデータが都道府県レベルで手に入るのか、より詳細に市区町村レベルで手に入るのかどうかについても示しています。また、そのデータソースおよび最新のデータ収集年を併せて示しています。本リストに示す指標の全てを利用する必要はありません。各自治体の政策目標や達成目標の内容と照らし合わせて利用可能なものがあれば適宜ご参照ください。



Goal 1「貧困をなくそう」

ゴール	ターゲット	グローバルインディケーター
ゴール1. あらゆる場所のあらゆる形態の貧困を終わらせる Goal1. End poverty in all its forms everywhere	<p>1.4 2030 年までに、貧困層及び脆弱層をはじめ、全ての男性及び女性が、基礎的サービスへのアクセス、土地及びその他の形態の財産に対する所有権と管理権限、相続財産、天然資源、適切な新技術、マイクロファイナンスを含む金融サービスに加え、経済的資源についても平等な権利を持つことができるよう確保する。</p> <p>By 2030, ensure that all men and women, in particular the poor and the vulnerable, have equal rights to economic resources, as well as access to basic services, ownership and control over land and other forms of property, inheritance, natural resources, appropriate new technology and financial services, including microfinance</p>	<p>1.4.1 基礎的サービスにアクセスできる世帯に住んでいる人口の割合 Proportion of population living in households with access to basic services</p> <p>1.4.2 土地に対し、法律上認められた書類により、安全な所有権を有し又土地の権利が安全であると認識している全成人の割合(性別、保有の種類別) Proportion of total adult population with secure tenure rights to land, with legally recognized documentation and who perceive their rights to land as secure, by sex and by type of tenure</p>
	<p>1.5 2030 年までに、貧困層や脆弱な状況にある人々の強靭性(レジリエンス)を構築し、気候変動に関連する極端な気象現象やその他の経済、社会、環境的ショックや災害に暴露や脆弱性を軽減する。</p> <p>By 2030, build the resilience of the poor and those in vulnerable situations and reduce their exposure and vulnerability to climate-related extreme events and other economic, social and environmental shocks and disasters</p>	<p>1.5.1 10 万人当たりの災害による死者数、行方不明者数、直接的負傷者数 Number of deaths, missing persons and directly affected persons attributed to disasters per 100,000 population (repeat of 11.5.1 and 13.1.1)</p> <p>1.5.2 グローバル GDP に関する災害による直接的経済損失 Direct economic loss attributed to disasters in relation to global gross domestic product (GDP)</p>
		<p>1.5.3 仙台防災枠組み 2015-2030 に沿った国家レベルの防災戦略を採択し実行している国数 Number of countries that adopt and implement national disaster risk reduction strategies in line with the Sendai Framework for Disaster Risk Reduction 2015-2030 (repeat of 11.b.1 and 13.1.2)</p>
		<p>1.5.4 仙台防災枠組み 2015-2030 に沿った地方レベルの防災戦略を採択し実行している地方政府の割合 Proportion of local governments that adopt and implement local disaster risk reduction strategies in line with national disaster risk reduction strategies (repeat of 11.b.2 and 13.1.3)</p>

ローカル指標(LI)(案)		データ入手可能性	データソース
LI 1.4.1	水道普及率	都道府県	厚生労働省 「水道の基本統計」 https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/topics/bukyoku/kenkou/suido/database/kihon/index.html
LI 1.4.2	空き家率 (空き家数／総住宅数)	市区町村	総務省 「住宅・土地統計調査」 http://www.stat.go.jp/data/jyutaku/2013/tyousake.html
LI 1.5.1	災害等の自然外因による死者割合 (災害等の自然外因による死者数／総死者数)	都道府県	厚生労働省 「人口動態統計」 https://www.mhlw.go.jp/toukei/list/81-1.html
LI 1.5.2	災害復旧費割合 (災害復旧費／全歳出)	市区町村	総務省 「市町村別決算状況調」 http://www.soumu.go.jp/iken/kessan_jokyo_2.html
LI 1.5.3	防災会議を設置している市区町村の割合	都道府県	総務省 消防庁 「地方防災行政の現況」 http://www.fdma.go.jp/disaster/chihoubousai/
LI 1.5.4			



Goal 1「貧困をなくそう」

ゴール	ターゲット	グローバルインディケーター
ゴール 1. あらゆる場所のあらゆる形態の貧困を終わらせる Goal 1. End poverty in all its forms everywhere	<p>1.a あらゆる次元での貧困を終わらせるための計画や政策を実施するべく、後発開発途上国をはじめとする開発途上国に対して適切かつ予測可能な手段を講じるため、開発協力の強化などを通じて、さまざまな供給源からの相当量の資源の動員を確保する。</p> <p>Ensure significant mobilization of resources from a variety of sources, including through enhanced development cooperation, in order to provide adequate and predictable means for developing countries, in particular least developed countries, to implement programmes and policies to end poverty in all its dimensions</p>	<p>1.a.1 政府によって貧困削減計画に直接割り当てられた国内で生み出された資源の割合 Proportion of domestically generated resources allocated by the government directly to poverty reduction programmes</p> <p>1.a.2 全体の国家財政支出に占める必要不可欠なサービスの割合(教育、健康、及び社会的な保護) Proportion of total government spending on essential services (education, health and social protection)</p> <p>1.a.3 貧困削減計画に直接割り当てられた助成金及び非譲渡債権の割合(GDP 比) Sum of total grants and non-debt creating inflows directly allocated to poverty reduction programmes as a proportion of GDP</p>
	<p>1.b 貧困撲滅のための行動への投資拡大を支援するため、国、地域及び国際レベルで、貧困層やジェンダーに配慮した開発戦略に基づいた適正な政策的枠組みを構築する。</p> <p>Create sound policy frameworks at the national, regional and international levels, based on pro-poor and gender-sensitive development strategies, to support accelerated investment in poverty eradication actions</p>	<p>1.b.1 女性、貧困層及び脆弱層グループに重点的に支援を行うセクターへの政府からの周期的な資本投資 Proportion of government recurrent and capital spending to sectors that disproportionately benefit women, the poor and vulnerable groups</p>

ローカル指標(LI)(案)		データ入手可能性	データソース
LI 1.a.1	生活保護費割合 (生活保護費／全歳出)	市区町村	総務省 「市町村別決算状況調」 http://www.soumu.go.jp/iken/kessan_jokyo_2.html
LI 1.a.2.1	衛生費割合 (衛生費／全歳出)	市区町村	総務省 「市町村別決算状況調」 http://www.soumu.go.jp/iken/kessan_jokyo_2.html
LI 1.a.2.2	教育費割合 (教育費／全歳出)	市区町村	総務省 「市町村別決算状況調」 http://www.soumu.go.jp/iken/kessan_jokyo_2.html
LI 1.a.2.3	(衛生費+教育費+生活保護費)割合 (衛生費+教育費+生活保護費／全歳出)	市区町村	総務省 「市町村別決算状況調」 http://www.soumu.go.jp/iken/kessan_jokyo_2.html
LI 1.a.3	指標候補を調査中		
LI 1.b.1	母子世帯への平均保護受給期間	都道府県	厚生労働省 「被保護者調査」 http://www.mhlw.go.jp/toukei/list/74-16.html
LI 1.X	世帯当たりの国内銀行預金残高	都道府県	総務省 「全国消費実態調査」(2014) https://www.stat.go.jp/data/zensho/2014/index.html



Goal 2「飢餓をゼロに」

ゴール	ターゲット	グローバルインディケーター
ゴール2 飢餓を終わらせ、食料安全保障及び栄養改善を実現し、持続可能な農業を促進する Goal2: End hunger; achieve food security and improved nutrition and promote sustainable agriculture	<p>2.1 2030 年までに、飢餓を撲滅し、全ての人々、特に貧困層及び幼児を含む脆弱な立場にある人々が一年中安全かつ栄養のある食料を十分得られるようにする。By 2030, end hunger and ensure access by all people, in particular the poor and people in vulnerable situations, including infants, to safe, nutritious and sufficient food all year round</p>	<p>2.1.1 栄養不足蔓延率(PoU) Prevalence of undernourishment</p>
	<p>2.2 5歳未満の子供の発育阻害や消耗性疾患について国際的に合意されたターゲットを 2025 年までに達成するなど、2030 年までにあらゆる形態の栄養不良を解消し、若年女子、妊婦・授乳婦及び高齢者の栄養ニーズへの対処を行う。 By 2030, end all forms of malnutrition, including achieving, by 2025, the internationally agreed targets on stunting and wasting in children under 5 years of age, and address the nutritional needs of adolescent girls, pregnant and lactating women and older persons</p>	<p>2.2.1 5歳未満の子供の発育阻害の蔓延度(WHO 子供の成長基準の中央値から-2SD 未満の年齢に対する身長) Prevalence of stunting (height for age <-2 standard deviation from the median of the World Health Organization (WHO) Child Growth Standards) among children under 5 years of age</p> <p>2.2.2 5歳未満の子供の栄養失調の蔓延度(WHO 子供の成長基準の中央値から+2SD より大きいか又は-2SD 未満の身長に対する体重)(タイプ(衰弱、過体重)別に詳細集計) Prevalence of malnutrition (weight for height >+2 or <-2 standard deviation from the median of the WHO Child Growth Standards) among children under 5 years of age, by type (wasting and overweight)</p>
	<p>2.3 2030 年までに、土地、その他の生産資源や、投入財、知識、金融サービス、市場及び高付加価値化や非農業雇用の機会への確実かつ平等なアクセスの確保などを通じて、女性、先住民、家族農家、牧畜民及び漁業者をはじめとする小規模食料生産者の農業生産性及び所得を倍増させる。 By 2030, double the agricultural productivity and incomes of small-scale food producers, in particular women, indigenous peoples, family farmers, pastoralists and fishers, including through secure and equal access to land, other productive resources and inputs, knowledge, financial services, markets and opportunities for value addition and non-farm employment</p>	<p>2.3.1 農業/牧畜/林業企業規模の分類ごとの労働単位あたり生産額 Volume of production per labour unit by classes of farming/pastoral/forestry enterprise size</p> <p>2.3.2 小規模食料生産者の平均的な収入(性別、先住民・非先住民の別) Average income of small-scale food producers, by sex and indigenous status</p>

ローカル指標(LI)(案)		データ入手可能性	データソース
LI 2.1.1.1	栄養失調及びビタミン欠乏症における総患者割合 (栄養失調及びビタミン欠乏症における総患者数／総人口)	都道府県	厚生労働省 「患者調査」 http://www.mhlw.go.jp/toukei/list/10-20.html
LI 2.1.1.2	給食施設における栄養士の有無 (総施設数－管理栄養士・栄養士がどちらもいらない施設数)／総施設数)	都道府県	厚生労働省 「衛生行政報告例」 https://www.mhlw.go.jp/toukei/list/36-19.html
LI 2.1.2.1	カロリーベースの食料自給率 (1人・1日当たりの各都道府県産熱量／1人・1日当たりの供給熱量)	都道府県	農林水産省 「都道府県の食料自給率」 http://www.maff.go.jp/j/zyukyu/zikyu_ritu/zikyu_10.htm
LI 2.1.2.2	生産額ベースの食料自給率 (各都道府県の食料生産額／食料消費仕向額)	都道府県	農林水産省 「都道府県の食料自給率」 http://www.maff.go.jp/j/zyukyu/zikyu_ritu/zikyu_10.htm
LI 2.2.1.1	発達障害者割合 (0歳～12歳の発達障害者数／12歳以下人口)	都道府県	厚生労働省 「福祉行政報告例」 http://www.mhlw.go.jp/toukei/list/38-1.html
LI 2.2.2	指標候補を調査中		
LI 2.3.1.1	農業就業人口当たりの農業産出額 (農業産出額／農業就業人口)	市区町村	農林水産省 「農林業センサス」 http://www.maff.go.jp/j/tokei/census/afc/
LI 2.3.1.2	林業就業人口当たりの林業産出額 (林業産出額／林業就業人口)	都道府県	農林水産省 「林業産出額」 http://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/ringyou_sansyuu/
LI 2.3.2	指標候補を調査中		



Goal 2「飢餓をゼロに」

ゴール	ターゲット	グローバルインディケーター
ゴール2. 飢餓を終わらせ、食料安全保障及び栄養改善を実現し、持続可能な農業を促進する Goal2. End hunger, achieve food security and improved nutrition and promote sustainable agriculture	<p>2.4 2030 年までに、生産性を向上させ、生産量を増やし、生態系を維持し、気候変動や極端な気象現象、干ばつ、洪水及びその他の災害に対する適応能力を向上させ、漸進的に土地と土壤の質を改善させるような、持続可能な食料生産システムを確保し、強靭（レジリエント）な農業を実践する。</p> <p>By 2030, ensure sustainable food production systems and implement resilient agricultural practices that increase productivity and production, that help maintain ecosystems, that strengthen capacity for adaptation to climate change, extreme weather, drought, flooding and other disasters and that progressively improve land and soil quality</p>	<p>2.4.1 生産的で持続可能な農業の下に行われる農業地域の割合 Proportion of agricultural area under productive and sustainable agriculture</p>
	<p>2.5 2020 年までに、国、地域及び国際レベルで適正に管理及び多様化された種子・植物バンクなども通じて、種子、栽培植物、飼育・家畜化された動物及びこれらの近縁野生種の遺伝的多様性を維持し、国際的合意に基づき、遺伝資源及びこれに関連する伝統的な知識へのアクセス及びその利用から生じる利益の公正かつ平衡な配分を促進する。</p> <p>By 2020, maintain the genetic diversity of seeds, cultivated plants and farmed and domesticated animals and their related wild species, including through soundly managed and diversified seed and plant banks at the national, regional and international levels, and promote access to and fair and equitable sharing of benefits arising from the utilization of genetic resources and associated traditional knowledge, as internationally agreed</p>	<p>2.5.1 中期又は長期保存施設に確保されている食物及び農業のための動植物の遺伝資源の数 Number of plant and animal genetic resources for food and agriculture secured in either medium or long-term conservation facilities</p> <p>2.5.2 絶滅の危機にある、絶滅の危機にはない、又は、不明というレベルごとに分類された在来種の割合 Proportion of local breeds classified as being at risk, not-at-risk or at unknown level of risk of extinction</p>
	<p>2.a 開発途上国、特に後発開発途上国における農業生産能力向上のために、国際協力の強化などを通じて、農村インフラ、農業研究・普及サービス、技術開発及び植物・家畜のジーン・バンクへの投資の拡大を図る。</p> <p>Increase investment, including through enhanced international cooperation, in rural infrastructure, agricultural research and extension services, technology development and plant and livestock gene banks in order to enhance agricultural productive capacity in developing countries, in particular least developed countries</p>	<p>2.a.1 政府支出における農業指向指数 The agriculture orientation index for government expenditures</p>
	<p>2.b ドーハ開発ラウンドのマンデートに従い、全ての農産物輸出補助金及び同等の効果を持つ全ての輸出措置の同時撤廃などを通じて、世界の市場における貿易制限や歪みを是正及び防止する。</p> <p>Correct and prevent trade restrictions and distortions in world agricultural markets, including through the parallel elimination of all forms of agricultural export subsidies and all export measures with equivalent effect, in accordance with the mandate of the Doha Development Round</p>	<p>2.b.1 農業輸出補助金 Agricultural export subsidies</p>

ローカル指標(LI)(案)		データ入手可能性	データソース
LI 2.4.1	農業就業人口当たりの耕地面積 (耕地面積／農業就業人口)	市区町村	農林水産省 「農林業センサス」 http://www.maff.go.jp/j/tokei/census/afc/
LI 2.5.1	指標候補を調査中		
LI 2.5.2	指標候補を調査中		
LI 2.a.1	投資額に対する農業產出額 (農業生産額／農業基盤整備に対する投資額)	都道府県	農林水産省 「農業協同組合及び同連合会一斉調査」 http://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/noukyo_rengokai/index.html
LI 2.a.2	指標候補を調査中		
LI 2.b.1	指標候補を調査中		



Goal 2「飢餓をゼロに」

ゴール	ターゲット	グローバルインディケーター
	<p>2.c 食料価格の極端な変動に歯止めをかけるため、食料市場及びデリバティブ市場の適正な機能を確保するための措置を講じ、食料備蓄などの市場情報への適時のアクセスを容易にする。 Adopt measures to ensure the proper functioning of food commodity markets and their derivatives and facilitate timely access to market information, including on food reserves, in order to help limit extreme food price volatility</p>	<p>2.c.1 料価格の変動指数(IFPA) Indicator of food price anomalies</p>

ローカル指標(LI)(案)		データ入手可能性	データソース
LI 2.c.1	指標候補を調査中		



Goal 3「すべての人に健康と福祉を」

ゴール	ターゲット	グローバルインディケーター
ゴール3. あらゆる年齢の全人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する Goal3. Ensure healthy lives and promote well-being for all at all ages	3.1 2030 年までに、世界の妊産婦の死亡率を出生 10 万人当たり 70 人未満に削減する。 By 2030, reduce the global maternal mortality ratio to less than 70 per 100,000 live births	3.1.1 妊産婦死亡率 Maternal mortality ratio
		3.1.2 専門技能者の立会いの下での出産の割合 Proportion of births attended by skilled health personnel
	3.2 全ての国が新生児死亡率を少なくとも出生 1,000 件中 12 件以下まで減らし、5 歳以下死亡率を少なくとも出生 1,000 件中 25 件以下まで減らすことを目指し、2030 年までに、新生児及び 5 歳未満児の予防可能な死亡を根絶する。 By 2030, end preventable deaths of newborns and children under 5 years of age, with all countries aiming to reduce neonatal mortality to at least as low as 12 per 1,000 live births and under 5 mortality to at least as low as 25 per 1,000 live births	3.2.1 5 歳未満児死亡率 Under-five mortality rate
		3.2.2 新生児死亡率 Neonatal mortality rate
	3.3 2030 年までに、エイズ、結核、マラリア及び顧みられない熱帯病といった伝染病を根絶するとともに肝炎、水系感染症及びその他の感染症に対処する。 By 2030, end the epidemics of AIDS, tuberculosis, malaria and neglected tropical diseases and combat hepatitis, water-borne diseases and other communicable diseases	3.3.1 非感染者 1,000 人当たりの新規 HIV 感染者数(性別、年齢及び主要層別) Number of new HIV infections per 1,000 uninfected population, by sex, age and key populations 3.3.2 100,000 人当たりの結核感染者数 Tuberculosis incidence per 100,000 population 3.3.3 1,000 人当たりのマラリア感染者数 Malaria incidence per 1,000 population 3.3.4 10 万人当たりのB型肝炎感染者数 Hepatitis B incidence per 100,000 population 3.3.5 「顧みられない熱帯病」(NTDs)に対して介入を必要としている人々の数に対して介入を必要としている人々の数 Number of people requiring interventions against neglected tropical diseases

ローカル指標(LI)(案)		データ入手可能性	データソース
LI 3.1.1	妊娠婦死亡率 (妊娠婦死亡数／出産数)	都道府県	厚生労働省 「人口動態統計」 http://www.mhlw.go.jp/toukei/list/81-1a.html
LI 3.1.2	指標候補を調査中		
LI 3.2.1	5歳未満児死亡率 (5歳未満児死亡数／5歳未満人口)	市区町村	厚生労働省 「人口動態統計」 http://www.mhlw.go.jp/toukei/list/81-1a.html
LI 3.2.2	新生児死亡率 (新生児死亡数／出生数)	市区町村	厚生労働省 「人口動態統計」 http://www.mhlw.go.jp/toukei/list/81-1a.html
LI 3.3.1	1,000人当たりのHIV感染者数 (HIV感染者数／人口)×1,000	都道府県	厚生労働省 「エイズ動向委員会報告」 http://api-net.jfap.or.jp/status/
LI 3.3.2	10万人当たりの結核感染者数 (結核感染者数／人口)×100,000	都道府県	厚生労働省 「結核登録者情報調査年報集計結果」 http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/kenkou/kekka-kansenshou03/index.html
LI 3.3.3.1	1,000人当たりのマラリアによる死者数 (マラリアによる死者数／人口)×1,000	都道府県	厚生労働省 「人口動態統計」 http://www.mhlw.go.jp/toukei/list/81-1a.html
LI 3.3.3.2	1,000人当たりのマラリア感染者数 (マラリア感染者数／総人口)×1,000	都道府県	厚生労働省 「伝染病統計:伝染病患者数、病類・性・都道府県(13大都市・中核市再掲)別」 https://www.mhlw.go.jp/toukei/list/densenbyou.html
LI 3.3.4	10万人当たりのB型肝炎による死者数 (B型肝炎による死者数／総人口)×100,000	都道府県	厚生労働省 「人口動態統計」 http://www.mhlw.go.jp/toukei/list/81-1a.html
LI 3.3.5	指標候補を調査中		



Goal 3「すべての人に健康と福祉を」

ゴール	ターゲット	グローバルインディケーター
Goal 3. Ensure healthy lives and promote well-being for all at all ages ゴール3. あらゆる年齢の全での人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する	3.4 2030 年までに、非感染性疾患による若年死亡率を、予防や治療を通じて3分の1減少させ、精神保健及び福祉を促進する。 By 2030, reduce by one third premature mortality from non-communicable diseases through prevention and treatment and promote mental health and well-being	3.4.1 心血管疾患、癌、糖尿病、又は慢性の呼吸器系疾患の死亡率 Mortality rate attributed to cardiovascular disease, cancer, diabetes or chronic respiratory disease
		3.4.2 自殺率 Suicide mortality rate
	3.5 薬物乱用やアルコールの有害な摂取を含む、物質乱用の防止・治療を強化する。 Strengthen the prevention and treatment of substance abuse, including narcotic drug abuse and harmful use of alcohol	3.5.1 薬物使用による障害のための治療介入(薬理学的、心理社会的、リハビリ及びアフターケア・サービス)の適用範囲 Coverage of treatment interventions (pharmacological, psychosocial and rehabilitation and aftercare services) for substance use disorders
		3.5.2 1年間(暦年)の純アルコール量における、(15 歳以上の)1人当たりのアルコール消費量に対しての各国の状況に応じ定義されたアルコールの有害な使用(0) Harmful use of alcohol, defined according to the national context as alcohol per capita consumption (aged 15 years and older) within a calendar year in litres of pure alcohol
	3.6 2020 年までに、世界の道路交通事故による死傷者を半減させる。 By 2020, halve the number of global deaths and injuries from road traffic accidents	3.6.1 道路交通事故による死亡率 Death rate due to road traffic injuries
	3.7 2030 年までに、家族計画、情報・教育及び性と生殖に関する健康の国家戦略・計画への組み入れを含む、性と生殖に関する保健サービスを全ての人々が利用できるようにする。 By 2030, ensure universal access to sexual and reproductive health-care services, including for family planning, information and education, and the integration of reproductive health into national strategies and programmes	3.7.1 近代的手法に立脚した家族計画のためのニーズを有する出産可能年齢(15~49 歳)にある女性の割合 Proportion of women of reproductive age (aged 15–49 years) who have their need for family planning satisfied with modern methods
		3.7.2 女性 1000 人当たりの青年期(10~14 歳;15~19 歳)の出生率 Adolescent birth rate (aged 10–14 years; aged 15–19 years) per 1,000 women in that age group

ローカル指標(LI)(案)		データ入手可能性	データソース
LI 3.4.1.1	心血管疾患による死亡率 (心血管疾患による死亡者数／総死亡者数)	市区町村	厚生労働省 「人口動態保健所・市区町村別統計」 http://www.mhlw.go.jp/toukei/list/137-19.html
LI 3.4.1.2	癌による死亡率 (癌による死亡者数／総死亡者数)	市区町村	厚生労働省 「人口動態保健所・市区町村別統計」 http://www.mhlw.go.jp/toukei/list/137-19.html
LI 3.4.1.3	糖尿病による死亡率 (糖尿病による死亡者数／総死亡者数)	市区町村	厚生労働省 「人口動態保健所・市区町村別統計」 http://www.mhlw.go.jp/toukei/list/137-19.html
LI 3.4.2	自殺率 (自殺者数／総死亡者数)	市区町村	厚生労働省 「人口動態統計」 http://www.mhlw.go.jp/toukei/list/81-1a.html
LI 3.5.1	指標候補を調査中		
LI 3.5.2	指標候補を調査中		
LI 3.6.1	道路交通事故による死亡率 (道路交通事故による死亡者数／総死亡者数)	市区町村	警察庁 「犯罪統計」 https://www.npa.go.jp/publications/statistics/sousa/year.html
LI 3.7.1	指標候補を調査中		
LI 3.7.2	指標候補を調査中		



Goal 3「すべての人に健康と福祉を」

ゴール	ターゲット	グローバルインディケーター
Goal 3. あらゆる年齢の全の人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する Goal3. Ensure healthy lives and promote well-being for all at all ages	<p>3.8 全ての人々に対する財政リスクからの保護、質の高い基礎的な保健サービスへのアクセス及び安全で効果的かつ質が高く安価な必須医薬品とワクチンへのアクセスを含む、ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ(UHC)を達成する。</p> <p>Achieve universal health coverage, including financial risk protection, access to quality essential health-care services and access to safe, effective, quality and affordable essential medicines and vaccines for all</p>	<p>3.8.1 必要不可欠の公共医療サービスの適応範囲(一般及び最も不利な立場の人々についての、生殖、妊婦、新生児及び子供の健康、伝染病、非伝染病、サービス能力とアクセスを含むトレーサー介入を基とする必要不可欠なサービスの平均的適応範囲と定義されたもの)</p> <p>Coverage of essential health services (defined as the average coverage of essential services based on tracer interventions that include reproductive, maternal, newborn and child health, infectious diseases, non-communicable diseases and service capacity and access, among the general and the most disadvantaged population)</p> <p>3.8.2 家計収支に占める健康関連支出が大きい人口の割合</p> <p>Proportion of population with large household expenditures on health as a share of total household expenditure or income</p>
	<p>3.9 2030 年までに、有害化学物質、並びに大気、水質及び土壤の汚染による死亡及び疾病の件数を大幅に減少させる。</p> <p>By 2030, substantially reduce the number of deaths and illnesses from hazardous chemicals and air, water and soil pollution and contamination</p>	<p>3.9.1 家庭内及び外部の大気汚染による死亡率</p> <p>Mortality rate attributed to household and ambient air pollution</p> <p>3.9.2 不衛生な水、不衛生な施設及び衛生知識不足(全ての人のための安全な上下水道と衛生(WASH)サービスが得られない環境に晒されている)による死亡率</p> <p>Mortality rate attributed to unsafe water, unsafe sanitation and lack of hygiene (exposure to unsafe Water, Sanitation and Hygiene for All (WASH) services)</p> <p>3.9.3 意図的ではない汚染による死亡率</p> <p>Mortality rate attributed to unintentional poisoning</p>
	<p>3.a 全ての国々において、たばこの規制に関する世界保健機関枠組条約の実施を適宜強化する。</p> <p>Strengthen the implementation of the World Health Organization Framework Convention on Tobacco Control in all countries, as appropriate</p>	<p>3.a.1 15 歳以上の現在の喫煙率(年齢調整されたもの)</p> <p>Age-standardized prevalence of current tobacco use among persons aged 15 years and older</p>

ローカル指標(LI)(案)		データ入手可能性	データソース
LI 3.8.1	指標候補を調査中		
LI 3.8.2	指標候補を調査中		
LI 3.9.1	10万人当たりの公害苦情件数	都道府県	総務省 「公害等調整委員会:公害苦情調査」 http://www.soumu.go.jp/kouchoi/knowledge/report/main.html
LI 3.9.2	人口1,000人当たりの水質汚濁防止法上の特定事業場数 (特定事業場数／総人口)×1,000	都道府県	環境省 「水質汚濁防止法等の施行状況」 https://www.env.go.jp/water/impure/law_chosa.html
LI 3.9.3	指標候補を調査中		
LI 3.a.1	喫煙率 (喫煙者数／15歳以上の人団)	都道府県	厚生労働省 「国民生活基礎調査」 http://www.mhlw.go.jp/toukei/list/20-21.html



Goal 3「すべての人に健康と福祉を」

ゴール	ターゲット	グローバルインディケーター
ゴール3. あらゆる年齢の全への人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する Goal3. Ensure healthy lives and promote well-being for all at all ages	<p>3.b 主に開発途上国に影響を及ぼす感染性及び非感染性疾患のワクチン及び医薬品の研究開発を支援する。また、知的所有権の貿易関連の側面に関する協定(TRIPS 協定)及び公衆の健康に関するドーハ宣言に従い、安価な必須医薬品及びワクチンへのアクセスを提供する。同宣言は公衆衛生保護及び、特に全ての人々への医薬品のアクセス提供にかかる「知的所有権の貿易関連の側面に関する協定(TRIPS 協定)」の柔軟性に関する規定を最大限に行使する開発途上国の権利を確約したものである。</p> <p>Support the research and development of vaccines and medicines for the communicable and non-communicable diseases that primarily affect developing countries, provide access to affordable essential medicines and vaccines, in accordance with the Doha Declaration on the TRIPS Agreement and Public Health, which affirms the right of developing countries to use to the full the provisions in the Agreement on Trade-Related Aspects of Intellectual Property Rights regarding flexibilities to protect public health, and, in particular, provide access to medicines for all</p>	<p>3.b.1 各国ごとの国家計画に含まれる全ての薬によってカバーされているターゲット人口の割合 Proportion of the target population covered by all vaccines included in their national programme</p>
	<p>3.c 開発途上国、特に後発開発途上国及び小島嶼開発途上国において保健財政及び保健人材の採用、能力開発・訓練及び定着を大幅に拡大させる。</p> <p>Substantially increase health financing and the recruitment, development, training and retention of the health workforce in developing countries, especially in least developed countries and small island developing States</p>	<p>3.c.1 医療従事者の密度と分布 Health worker density and distribution</p>
	<p>3.d 全ての国々、特に開発途上国の国家・世界規模な健康危険因子の早期警告、危険因子緩和及び危険因子管理のための能力を強化する。</p> <p>Strengthen the capacity of all countries, in particular developing countries, for early warning, risk reduction and management of national and global health risks</p>	<p>3.d.1 国際保健規則(IHR) キャパシティと衛生緊急対策 International Health Regulations (IHR) capacity and health emergency preparedness</p>

ローカル指標(LI)(案)		データ入手可能性	データソース
LI 3.b.1	人口当たりの薬局数 (薬局数／総人口)	都道府県	厚生労働省 「衛生行政報告例」 http://www.mhlw.go.jp/toukei/list/36-19.html
LI 3.b.2	指標候補を調査中		
LI 3.b.3	人口当たりの一般病院数 (一般病院数／総人口)	市区町村	厚生労働省 「医療施設調査」 http://www.mhlw.go.jp/toukei/list/79-1.html
LI 3.c.1	人口当たりの医師数 (医師数／総人口)	市区町村	厚生労働省 「医師・歯科医師・薬剤師調査」 http://www.mhlw.go.jp/toukei/list/33-20.html
LI 3.d.1	指標候補を調査中		
LI 3.X	国民健康保険診療費(被保険者1人当たり)	都道府県	厚生労働省 「国民健康保険事業年報・月報」 https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/iryouhoken/database/seido/kokumin_nenpo.html
LI 3.X	BMI の平均値 (BMI-22)	都道府県	厚生労働省 「国民健康・栄養調査 / 平成 28 年国民健康・栄養調査」 https://www.mhlw.go.jp/toukei/itiran/gaiyo/k-eisei.html
LI 3.X	平均寿命	市区町村	厚生労働省 「市区町村別生命表の概要」 https://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/life/ckts15/index.html



Goal 4「質の高い教育をみんなに」

ゴール	ターゲット	グローバルインディケーター
ゴール4. 全ての人に包括的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する Goal4. Ensure inclusive and equitable quality education and promote lifelong learning opportunities for all	<p>4.1 2030 年までに、全ての子供が男女の区別なく、適切かつ効果的な学習成果をもたらす、無償かつ公正で質の高い初等教育及び中等教育を修了できるようにする。</p> <p>By 2030, ensure that all girls and boys complete free, equitable and quality primary and secondary education leading to relevant and effective learning outcomes</p>	<p>4.1.1 (i) 読解力、(ii) 算数について、最低限の習熟度に達している次の子供や若者の割合(性別ごと) (a) 2~3学年時、(b) 小学校修了時、(c) 中学校修了時</p> <p>Proportion of children and young people: (a) in grades 2/3; (b) at the end of primary; and (c) at the end of lower secondary achieving at least a minimum proficiency level in (i) reading and (ii) mathematics, by sex</p>
	<p>4.2 2030 年までに、全ての子供が男女の区別なく、質の高い乳幼児の発達・ケア及び就学前教育にアクセスすることにより、初等教育を受ける準備が整うようにする。</p> <p>By 2030, ensure that all girls and boys have access to quality early childhood development, care and pre-primary education so that they are ready for primary education</p>	<p>4.2.1 健康、学習及び心理社会的な幸福について、順調に発育している5歳未満の子供の割合(性別ごと)</p> <p>Proportion of children under 5 years of age who are developmentally on track in health, learning and psychosocial well-being, by sex</p> <p>4.2.2 (小学校に入学する年齢より1年前の時点) 体系的な学習に参加している者の割合(性別ごと)</p> <p>Participation rate in organized learning (one year before the official primary entry age), by sex</p>
	<p>4.3 2030 年までに、全ての人々が男女の区別なく、手の届く質の高い技術教育・職業教育及び大学を含む高等教育への平等なアクセスを得られるようにする。</p> <p>By 2030, ensure equal access for all women and men to affordable and quality technical, vocational and tertiary education, including university</p>	<p>4.3.1 過去 12か月にフォーマル及びノンフォーマルな教育や訓練に参加している若者又は成人の割合(性別ごと)</p> <p>Participation rate of youth and adults in formal and non-formal education and training in the previous 12 months, by sex</p>
	<p>4.4 2030 年までに、技術的・職業的スキルなど、雇用、働きがいのある人間らしい仕事及び起業に必要な技能を備えた若者と成人の割合を大幅に増加させる。</p> <p>By 2030, substantially increase the number of youth and adults who</p>	<p>4.4.1 ICT スキルを有する若者や成人の割合(スキルのタイプ別)</p> <p>Proportion of youth and adults with information and communications technology (ICT) skills, by type of skill</p>
	<p>4.5 2030 年までに、教育におけるジェンダー格差を無くし、障害者、先住民及び脆弱な立場にある子供など、脆弱層があらゆるレベルの教育や職業訓練に平等にアクセスできるようにする。</p> <p>By 2030, eliminate gender disparities in education and ensure equal access to all levels of education and vocational training for the vulnerable, including persons with disabilities, indigenous peoples and children in vulnerable situations</p>	<p>4.5.1 詳細集計可能な、本リストに記載された全ての教育指標のための、パリティ指数(女性/男性、地方/都市、富の五分位数の底/トップ、その他障害状況、先住民、利用可能になるデータとして議論されたもの等)</p> <p>Parity indices (female/male, rural/urban, bottom/top wealth quintile and others such as disability status, indigenous peoples and conflict-affected, as data become available) for all education indicators on this list that can be disaggregated</p>

ローカル指標(LI)(案)		データ入手可能性	データソース
LI 4.1.1	小中学校登校者割合 (小中学校在学者数－不登校者数)／小中学校在学者数)	都道府県	文部科学省 「学校基本調査」 http://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/chousa01/kihon/1267995.htm
LI 4.2.1	5歳未満の入院者割合 (5歳未満の入院者数／5歳未満人口)	都道府県	厚生労働省 「患者調査」 http://www.mhlw.go.jp/toukei/list/10-20.html
LI 4.2.2.1	保育園登園割合 (保育園の児童数／5歳以下人口)	都道府県	厚生労働省 「社会福祉施設等調査」 http://www.mhlw.go.jp/toukei/list/23-22.html
LI 4.2.2.2	幼稚園登園割合 (保育園の児童数／5歳以下人口)	都道府県	厚生労働省 「社会福祉施設等調査」 http://www.mhlw.go.jp/toukei/list/23-22.html
LI 4.2.2.3	保育園・幼稚園登園割合 (保育園・幼稚園の児童数／5歳以下人口)	都道府県	厚生労働省 「社会福祉施設等調査」 http://www.mhlw.go.jp/toukei/list/23-22.html
LI 4.3.1	人口当たりの職業訓練費 (職業訓練費／求職者人口)	都道府県	総務省 「都道府県別決算状況調」 http://www.soumu.go.jp/iken/kessan_jokyo_1.html
LI 4.4.1	生徒1人当たりのコンピューター数 (コンピューター数／生徒数)	都道府県	総務省 「情報通信白書」 http://www.soumu.go.jp/johotsusintoeki/whitepaper/index.html
LI 4.5.1.1	パリティ指数(小中学校) (小中学校の女子生徒数／男子生徒数)	都道府県	文部科学省 「学校基本調査」 http://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/chousa01/kihon/1267995.htm
LI 4.5.1.2	パリティ指数(高校・大学) (高校・大学の女子生徒数／男子生徒数)	都道府県	文部科学省 「学校基本調査」 http://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/chousa01/kihon/1267995.htm



Goal 4「質の高い教育をみんなに」

ゴール	ターゲット	グローバルインディケーター
ゴール4 全くの人に包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する Goal4. Ensure inclusive and equitable quality education and promote lifelong learning opportunities for all	<p>4.6 2030 年までに、全ての若者及び大多数(男女ともに)の成人が、読み書き能力及び基本的計算能力を身に付けられるようする。</p> <p>By 2030, ensure that all youth and a substantial proportion of adults, both men and women, achieve literacy and numeracy</p>	<p>4.6.1 実用的な(a)読み書き能力、(b)基本的計算能力において、少なくとも決まったレベルを達成した所定の年齢層の人口の割合(性別ごと)</p> <p>Proportion of population in a given age group achieving at least a fixed level of proficiency in functional (a) literacy and (b) numeracy skills, by sex</p>
	<p>4.7 2030 年までに、持続可能な開発のための教育及び持続可能なライフスタイル、人権、男女の平等、平和及び非暴力的文化の推進、グローバル・シチズンシップ、文化多様性と文化の持続可能な開発への貢献の理解の教育を通して、全ての学習者が、持続可能な開発を促進するために必要な知識及び技能を習得できるようする。</p> <p>By 2030, ensure that all learners acquire the knowledge and skills needed to promote sustainable development, including, among others, through education for sustainable development and sustainable lifestyles, human rights, gender equality, promotion of a culture of peace and non-violence, global citizenship and appreciation of cultural diversity and of culture's contribution to sustainable development</p>	<p>4.7.1 ジェンダー平等および人権を含む、(i)地球市民教育、及び(ii)持続可能な開発のための教育が、(a)各国の教育政策、(b)カリキュラム、(c)教師の教育、及び(d)児童・生徒・学生の達成度評価に関して、全ての教育段階において主流化されているレベル</p> <p>Extent to which (i) global citizenship education and (ii) education for sustainable development, including gender equality and human rights, are mainstreamed at all levels in (a) national education policies, (b) curricula, (c) teacher education and (d) student assessment</p>
	<p>4.a 子供、障害及びジェンダーに配慮した教育施設を構築・改良し、全ての人々に安全で非暴力的、包摂的、効果的な学習環境を提供できるようにする。</p> <p>Build and upgrade education facilities that are child, disability and gender sensitive and provide safe, non-violent, inclusive and effective learning environments for all</p>	<p>4.a.1 以下の設備等が利用可能な学校の割合</p> <p>(a)電気、(b)教育を目的としたインターネット、(c)教育を目的としたコンピュータ、(d)障害を持っている学生のための適切な施設や道具、(e) 基本的な飲料水、(f)男女別の基本的なトイレ、(g)基本的な手洗い場(WASH 指標の定義別)</p> <p>Proportion of schools with access to: (a) electricity; (b) the Internet for pedagogical purposes; (c) computers for pedagogical purposes; (d) adapted infrastructure and materials for students with disabilities; (e) basic drinking water; (f) single-sex basic sanitation facilities; and (g) basic handwashing facilities (as per the WASH indicator definitions)</p>
	<p>4.b 2020 年までに、開発途上国、特に後発開発途上国及び小島嶼開発途上国、並びにアフリカ諸国を対象とした、職業訓練、情報通信技術(ICT)、技術・工学・科学プログラムなど、先進国及びその他の開発途上国における高等教育の奨学金の件数を全世界で大幅に増加させる。</p> <p>By 2020, substantially expand globally the number of scholarships available to developing countries, in particular least developed countries, small island developing States and African countries, for enrolment in higher education, including vocational training and information and communications technology, technical, engineering and scientific programmes, in developed countries and other developing countries</p>	<p>4.b.1 奨学金のための ODA フローの量(部門と研究タイプ別)</p> <p>Volume of official development assistance flows for scholarships by sector and type of study</p>

ローカル指標(LI)(案)		データ入手可能性	データソース
LI 4.6.1.1	小学生の国語・数学・理科の平均正答率	都道府県	国立教育政策研究所 「全国学力・学習状況調査」 http://www.nier.go.jp/kaihatsu/zenkokugakuryoku.html
LI 4.6.1.2	中学生の国語・数学・理科の平均正答率	都道府県	国立教育政策研究所 「全国学力・学習状況調査」 http://www.nier.go.jp/kaihatsu/zenkokugakuryoku.html
LI 4.7.1	社会教育施設割合 ((公民館、図書館、博物館、青少年教育施設、女性教育施設、体育施設、劇場、音楽堂等、生涯学習センターの合計)/総人口)	都道府県	文部科学省 「社会教育調査」 http://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/chousa02/shakai/index.htm
LI 4.a.1.1	学校におけるインターネット接続率(光ファイバ回線)	市区町村	文部科学省 「学校における教育の情報化の実態等に関する調査」 http://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/chousa01/jouhouka/1259933.htm
LI 4.a.1.2	学校におけるコンピューターの設置割合	市区町村	文部科学省 「学校における教育の情報化の実態等に関する調査」 http://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/chousa01/jouhouka/1259933.htm
LI 4.a.1.3	人口当たりの特別支援学校数 (特別支援学校数/総人口)	都道府県	文部科学省 「特別支援教育資料」 http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/tokubetu/materi al/1358539.htm
LI 4.a.1.4	小中学校学生1人当たりのトイレ数 (小中学校のトイレ数/小中学校学生数)	市区町村	文部科学省 「公立小中学校施設のトイレの状況調査」 http://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/28/11/1379078.htm
LI 4.b.1	指標候補を調査中		



Goal 4「質の高い教育をみんなに」

ゴール	ターゲット	グローバルインディケーター
	<p>4.c 2030 年までに、開発途上国、特に後発開発途上国及び小島嶼開発途上国における教員研修のための国際協力などを通じて、質の高い教員の数を大幅に増加させる。</p> <p>By 2030, substantially increase the supply of qualified teachers, including through international cooperation for teacher training in developing countries, especially least developed countries and small island developing States</p>	<p>4.c.1 各国における適切なレベルでの教育を行うために、最低限制度化された養成研修あるいは現職研修(例:教授法研修)を受けた (a) 就学前教育、(b) 初等教育、(c) 前期中等教育、(d) 後期中等教育に従事する教員の割合</p> <p>Proportion of teachers in: (a) pre-primary; (b) primary; (c) lower secondary; and (d) upper secondary education who have received at least the minimum organized teacher training (e.g. pedagogical training) pre-service or in-service required for teaching at the relevant level in a given country</p>

ローカル指標(LI)(案)		データ入手可能性	データソース
LI 4.c.1	都道府県別「教員の ICT 活用指導力」の状況 (「わりにできる」若しくは「ややできる」と回答した教員の割合 の大項目別平均)	都道府県	文部科学省 「学校における教育の情報化の実態等に関する調査」 http://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/chousa01/jouhouka/1259933.htm



Goal 5「ジェンダー平等を実現しよう」

ゴール	ターゲット	グローバルインディケーター
ゴール5. ジェンダー平等を達成し、全ての女性及び女児の能力強化を行う	<p>5.1 あらゆる場所における全ての女性及び女児に対するあらゆる形態の差別を撤廃する。 End all forms of discrimination against all women and girls everywhere</p>	<p>5.1.1 性別に基づく平等と差別撤廃を促進、実施及びモニターするための法律の枠組みが制定されているかどうか Whether or not legal frameworks are in place to promote, enforce and monitor equality and non-discrimination on the basis of sex</p>
	<p>5.2 人身売買や性的、その他の種類の搾取など、全ての女性及び女児に対する、公共・私的空間におけるあらゆる形態の暴力を排除する。 Eliminate all forms of violence against all women and girls in the public and private spheres, including trafficking and sexual and other types of exploitation</p>	<p>5.2.1 これまでにパートナーを得た 15 歳以上の女性や少女のうち、過去 12 か月以内に、現在、または以前の親密なパートナーから身体的、性的、精神的暴力を受けた者の割合(暴力の形態、年齢別) Proportion of ever-partnered women and girls aged 15 years and older subjected to physical, sexual or psychological violence by a current or former intimate partner, in the previous 12 months, by form of violence and by age</p> <p>5.2.2 過去 12 カ月以内に、親密なパートナー以外の人から性的暴力を受けた 15 歳以上の女性や少女の割合(年齢、発生場所別) Proportion of women and girls aged 15 years and older subjected to sexual violence by persons other than an intimate partner, in the previous 12 months, by age and place of occurrence</p>
	<p>5.3 未成年者の結婚、早期結婚、強制結婚及び女性器切除など、あらゆる有害な慣行を撤廃する。 Eliminate all harmful practices, such as child, early and forced marriage and female genital mutilation</p>	<p>5.3.1 15 歳未満、18 歳未満で結婚又はパートナーを得た 20～24 歳の女性の割合 Proportion of women aged 20–24 years who were married or in a union before age 15 and before age 18</p> <p>5.3.2 女性性器切除を受けた 15～49 歳の少女や女性の割合(年齢別) Proportion of girls and women aged 15–49 years who have undergone female genital mutilation/cutting, by age</p>
	<p>5.4 公共のサービス、インフラ及び社会保障政策の提供、並びに各国の状況に応じた世帯・家族内における責任分担を通じて、無報酬の育児・介護や家事労働を認識・評価する。 Recognize and value unpaid care and domestic work through the provision of public services, infrastructure and social protection policies and the promotion of shared responsibility within the household and the family as nationally appropriate</p>	<p>5.4.1 無償の家事・ケア労働に費やす時間の割合(性別、年齢、場所別) Proportion of time spent on unpaid domestic and care work, by sex, age and location</p>

ローカル指標(LI)(案)		データ入手可能性	データソース
LI 5.1.1	女性活躍推進計画の策定有無	市区町村	内閣府 「女性活躍推進法—「見える化」サイト—」 http://www.gender.go.jp/policy/suishin_law/suishin_kyogikai/suishin_sakutei.html
LI 5.2.1	人口当たりの配偶者からの暴力相談件数 (配偶者からの暴力相談件数／総人口)	都道府県	内閣府 「配偶者からの暴力被害者支援情報」 http://www.gender.go.jp/policy/no_violence/e-vaw/data/01.html
LI 5.2.2	女性人口当たりの強制わいせつの認知件数 (強制わいせつの認知件数／女性人口)	都道府県	警察庁 「犯罪統計」 https://www.npa.go.jp/publications/statistics/sousa/year.html
LI 5.3.1	18歳未満で結婚した女性の割合 (18歳未満で結婚した女性／女性人口)	都道府県	総務省 「国勢調査」 http://www.stat.go.jp/data/kokusei/2015/kekka.html
LI 5.3.2	指標候補を調査中		
LI 5.4.1.1	家事に従事する人の割合 (家事に従事している人数／総人口)	都道府県	総務省 「国勢調査」 http://www.stat.go.jp/data/kokusei/2015/index.htm
LI 5.4.1.2	待機児童数割合 (待機児童数／5歳以下人口)	都道府県	厚生労働省 「保育所等関連状況取りまとめ」 https://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/0000176137.html



Goal 5「ジェンダー平等を実現しよう」

ゴール	ターゲット	グローバルインディケーター
ゴール5. ジェンダー平等を達成し、全ての女性及び女児の能力強化を行う Goal5. Achieve gender equality and empower all women and girls	<p>5.5 政治、経済、公共分野でのあらゆるレベルの意思決定において、完全かつ効果的な女性の参画及び平等なリーダーシップの機会を確保する。</p> <p>Ensure women's full and effective participation and equal opportunities for leadership at all levels of decision-making in political, economic and public life</p>	<p>5.5.1 国会及び地方議会において女性が占める議席の割合 Proportion of seats held by women in (a) national parliaments and (b) local governments</p> <p>5.5.2 管理職に占める女性の割合 Proportion of women in managerial positions</p>
	<p>5.6 国際人口・開発会議(ICPD)の行動計画及び北京行動綱領、並びにこれらの検証会議の成果文書に従い、性と生殖に関する健康及び権利への普遍的アクセスを確保する。</p> <p>Ensure universal access to sexual and reproductive health and reproductive rights as agreed in accordance with the Programme of Action of the International Conference on Population and Development and the Beijing Platform for Action and the outcome documents of their review conferences</p>	<p>5.6.1 性的関係、避妊、リプロダクティブ・ヘルスケアについて、自分で意思決定を行うことのできる15歳～49歳の女性の割合 Proportion of women aged 15–49 years who make their own informed decisions regarding sexual relations, contraceptive use and reproductive health care</p> <p>5.6.2 15歳以上の女性及び男性に対し、セクシュアル/リプロダクティブ・ヘルスケア、情報、教育を保障する法律や規定を有する国数 Number of countries with laws and regulations that guarantee full and equal access to women and men aged 15 years and older to sexual and reproductive health care, information and education</p>
	<p>5.a 女性に対し、経済的資源に対する同等の権利、並びに各國法に従い、オーナーシップ及び土地その他の財産、金融サービス、相続財産、天然資源に対するアクセスを与えるための改革に着手する。</p> <p>Undertake reforms to give women equal rights to economic resources, as well as access to ownership and control over land and other forms of property, financial services, inheritance and natural resources, in accordance with national laws</p>	<p>5.a.1 (a)農地への所有権又は保障された権利を有する総農業人口の割合(性別ごと) (b)農地所有者又は権利者における女性の割合(所有条件別) (a) Proportion of total agricultural population with ownership or secure rights over agricultural land, by sex; and (b) share of women among owners or rights-bearers of agricultural land, by type of tenure</p> <p>5.a.2 土地所有及び/又は管理に関する女性の平等な権利を保障している法的枠組(慣習法を含む)を有する国数 Proportion of countries where the legal framework (including customary law) guarantees women's equal rights to land ownership and/or control</p>

ローカル指標(LI)(案)		データ入手可能性	データソース
LI 5.5.1	都道府県議会議員の女性の割合 (女性の都道府県議会議員数／都道府県議会議員数)	都道府県	総務省 「地方公共団体の議会の議員及び長の所属党派別人員調」 http://www.soumu.go.jp/senkyo/senkyo_s/data/syozoku/ichiran.html
LI 5.5.2.1	役員の女性の割合 (女性の役員数／役員数)	市区町村	総務省 「国勢調査」 http://www.stat.go.jp/data/kokusei/2015/kekka.html
LI 5.5.2.2	(放課後児童クラブ数／児童数)	都道府県	厚生労働省 「地域児童福祉事業等調査」 https://www.mhlw.go.jp/toukei/list/25-20.html 文部科学省 「学校基本調査」 http://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/chousa01/kihon/1267995.htm
LI 5.6.1	指標候補を調査中		
LI 5.6.2	女性活躍推進計画の策定有無	市区町村	内閣府 「女性活躍推進法—「見える化」サイト—」 http://www.gender.go.jp/policy/suishin_law/suishin_kyogikai/suishin_sakutei.html
LI 5.a.1	農業に従事している女性の割合 (女性農業従事者数／全農業従事者数)	市区町村	農林水産省 「農林業センサス」 http://www.maff.go.jp/j/tokei/census/afc/
LI 5.a.2	指標候補を調査中		



Goal 5「ジェンダー平等を実現しよう」

ゴール	ターゲット	グローバルインディケーター
	<p>5.b 女性の能力強化促進のため、ICT をはじめとする実現技術の活用を強化する。 Enhance the use of enabling technology, in particular information and communications technology, to promote the empowerment of women</p> <p>5.c ジェンダー平等の促進、並びに全ての女性及び女子のあらゆるレベルでの能力強化のための適正な政策及び拘束力のある法規を導入・強化する。 Adopt and strengthen sound policies and enforceable legislation for the promotion of gender equality and the empowerment of all women and girls at all levels</p>	<p>5.b.1 携帯電話を所有する個人の割合(性別ごと) Proportion of individuals who own a mobile telephone, by sex</p> <p>5.c.1 ジェンダー平等及び女性のエンパワーメントのための公的資金を監視、配分するシステムを有する国の割合 Proportion of countries with systems to track and make public allocations for gender equality and women's empowerment</p>

ローカル指標(LI)(案)		データ入手可能性	データソース
LI 5.b.1	指標候補を調査中		
LI 5.c.1	指標候補を調査中		



Goal 6「安全な水とトイレを世界中に」

ゴール	ターゲット	グローバルインディケーター
Goal 6. Ensure availability and sustainable management of water and sanitation for all ゴール6. 全ての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する	6.1 2030 年までに、全ての人々の、安全で安価な飲料水の普遍的かつ公平なアクセスを達成する。 By 2030, achieve universal and equitable access to safe and affordable drinking water for all	6.1.1 安全に管理された飲料水サービスを利用する人口の割合 Proportion of population using safely managed drinking water services
	6.2 2030 年までに、全ての人々の、適切かつ平等な下水施設・衛生施設へのアクセスを達成し、野外での排泄をなくす。女性及び女児、並びに脆弱な立場にある人々のニーズに特に注意を払う。 By 2030, achieve access to adequate and equitable sanitation and hygiene for all and end open defecation, paying special attention to the needs of women and girls and those in vulnerable situations	6.2.1 石けんや水のある手洗い場等の安全に管理された公衆衛生サービスを利用する人口の割合 Proportion of population using safely managed sanitation services, including a hand-washing facility with soap and water
	6.3 2030 年までに、汚染の減少、投棄の廃絶と有害な化学物・物質の放出の最小化、未処理の排水の割合半減及び再生利用と安全な再利用の世界的規模で大幅に増加させることにより、水質を改善する。 By 2030, improve water quality by reducing pollution, eliminating dumping and minimizing release of hazardous chemicals and materials, halving the proportion of untreated wastewater and substantially increasing recycling and safe reuse globally	6.3.1 安全に処理された廃水の割合 Proportion of wastewater safely treated 6.3.2 良好な水質を持つ水域の割合 Proportion of bodies of water with good ambient water quality
	6.4 2030 年までに、全セクターにおいて水利用の効率を大幅に改善し、淡水の持続可能な採取及び供給を確保し水不足に対応するとともに、水不足に悩む人々の数を大幅に減少させる。 By 2030, substantially increase water-use efficiency across all sectors and ensure sustainable withdrawals and supply of freshwater to address water scarcity and substantially reduce the number of people suffering from water scarcity	6.4.1 水の利用効率の経時変化 Change in water-use efficiency over time 6.4.2 水ストレスレベル: 淡水资源量に占める淡水採取量の割合 Level of water stress: freshwater withdrawal as a proportion of available freshwater resources
	6.5 2030 年までに、国境を越えた適切な協力を含む、あらゆるレベルでの統合水資源管理を実施する。 By 2030, implement integrated water resources management at all levels, including through transboundary cooperation as appropriate	6.5.1 統合水資源管理(IWRM)実施の度合い(0-100) Degree of integrated water resources management implementation (0-100) 6.5.2 水資源協力のための運営協定がある越境流域の割合 Proportion of transboundary basin area with an operational arrangement for water cooperation

ローカル指標(LI)(案)		データ入手可能性	データソース
LI 6.1.1	給水普及率 (給水人口／総人口)	都道府県	厚生労働省 「水道の基本統計」(2015) http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/topics/bukyoku/kenkou/suido/database/kihon/index.html
LI 6.2.1	人口当たりの公衆衛生費 (公衆衛生費／総人口)	都道府県	総務省 「都道府県別決算状況調」(2016) http://www.soumu.go.jp/iken/kessan_jokyo_1.html
LI 6.3.1	下水道処理人口普及率	市区町村	国土交通省 「下水道の普及状況」 http://www.mlit.go.jp/mizukokudo/sewerage/crd_sewage_tk_000104.html
LI 6.3.2	河川 BOD(日間平均値の 75% 値)	観測センターのある 市区町村	国立環境研究所 「環境 GIS」 https://www.nies.go.jp/igreen/
LI 6.4.1	指標候補を調査中		
LI 6.4.2	指標候補を調査中		
LI 6.5.1.1	人口当たりの水道事業所数 (水道の事業所数／総人口)	都道府県	総務省 「経済センサス」 http://www.stat.go.jp/data/e-census/
LI 6.5.1.2	人口 1,000 人当たりの水質汚濁防止法上の特定事業場数 (特定事業場数／総人口) × 1,000	都道府県	環境省 「水質汚濁防止法等の施行状況」 https://www.env.go.jp/water/impure/law_chosa.html
LI 6.5.2	指標候補を調査中		



Goal 6「安全な水とトイレを世界中に」

ゴール	ターゲット	グローバルインディケーター
ゴール6. 全ての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する Goal6. Ensure availability and sustainable management of water and sanitation for all	<p>6.6 2020年までに、山地、森林、湿地、河川、帯水層、湖沼を含む水に関連する生態系の保護・回復を行う。 By 2020, protect and restore water-related ecosystems, including mountains, forests, wetlands, rivers, aquifers and lakes</p>	<p>6.6.1 水関連生態系範囲の経時変化 Change in the extent of water-related ecosystems over time</p>
	<p>6.a 2030年までに、集水、海水淡化化、水の効率的利用、排水処理、リサイクル・再利用技術を含む開発途上国における水と衛生分野での活動と計画を対象とした国際協力と能力構築支援を拡大する。 By 2030, expand international cooperation and capacity-building support to developing countries in water- and sanitation-related activities and programmes, including water harvesting, desalination, water efficiency, wastewater treatment, recycling and reuse technologies</p>	<p>6.a.1 政府調整支出計画の一部である上下水道関連のODAの総量 Amount of water- and sanitation-related official development assistance that is part of a government coordinated spending plan</p>
	<p>6.b 水と衛生に関わる分野の管理向上における地域コミュニティの参加を支援・強化する。 Support and strengthen the participation of local communities in improving water and sanitation management</p>	<p>6.b.1 上下水道管理への地方コミュニティの参加のために制定し、運営されている政策及び手続のある地方公共団体の割合 Proportion of local administrative units with established and operational policies and procedures for participation of local communities in water and sanitation management</p>

ローカル指標(LI)(案)		データ入手可能性	データソース
LI 6.6.1	指標候補を調査中		
LI 6.a.1	人口当たりの下水道費 (下水道費／総人口)	市区町村	総務省 「市町村別決算状況調」 http://www.soumu.go.jp/iken/kessan_jokyo_2.html
LI 6.b.1	下水道事業着手率	都道府県	国土交通省 「下水道の普及状況」 http://www.mlit.go.jp/mizukokudo/sewerage/crd_sewage_tk_000104.html

7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに



Goal 7「エネルギーをみんなにそしてクリーンに」

ゴール	ターゲット	グローバルインディケーター
ゴール7. 全くの人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的エネルギーへのアクセスを確保する Goal7. Ensure access to affordable, reliable, sustainable and modern energy for all	<p>7.1 2030 年までに、安価かつ信頼できる現代的エネルギーサービスへの普遍的アクセスを確保する。 By 2030, ensure universal access to affordable, reliable and modern energy services</p>	<p>7.1.1 電気を受電可能な人口比率 Proportion of population with access to electricity</p>
	<p>7.2 2030 年までに、世界のエネルギー믹스における再生可能エネルギーの割合を大幅に拡大させる。 By 2030, increase substantially the share of renewable energy in the global energy mix</p>	<p>7.2.1 最終エネルギー消費量に占める再生可能エネルギー比率 Renewable energy share in the total final energy consumption</p>
	<p>7.3 2030 年までに、世界全体のエネルギー効率の改善率を倍増させる。 By 2030, double the global rate of improvement in energy efficiency</p>	<p>7.3.1 一次エネルギー及び GDP 単位当たりのエネルギー強度 Energy intensity measured in terms of primary energy and GDP</p>
	<p>7.a 2030 年までに、再生可能エネルギー、エネルギー効率及び先進的かつ環境負荷の低い化石燃料技術などのクリーンエネルギーの研究及び技術へのアクセスを促進するための国際協力を強化し、エネルギー関連インフラとクリーンエネルギー技術への投資を促進する。 By 2030, enhance international cooperation to facilitate access to clean energy research and technology, including renewable energy, energy efficiency and advanced and cleaner fossil-fuel technology, and promote investment in energy infrastructure and clean energy technology</p>	<p>7.a.1 クリーンなエネルギー研究及び開発と、ハイブリッドシステムに含まれる再生可能エネルギー生成への支援に関する発展途上国に対する国際金融フロー International financial flows to developing countries in support of clean energy research and development and renewable energy production, including in hybrid systems</p>

ローカル指標(LI)(案)		データ入手可能性	データソース
LI 7.1.1	指標候補を調査中		
LI 7.1.2	指標候補を調査中		
LI 7.2.1.1	新エネルギー発電割合 (新エネルギー発電量／全てのエネルギー発電量)	都道府県	経済産業省 「都道府県別発電実績」 http://www.enecho.meti.go.jp/statistics/electric_power/ep002/results.html
LI 7.2.1.2	人口当たりの木質バイオマス利用量 (木質バイオマス利用量／総人口)	都道府県	農林水産省 「木質バイオマス利用量」 http://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/mokusitu_biomas/index.html
LI 7.2.1.3	世帯当たりの太陽光発電設置割合 (10kW 未満の太陽光発電設備導入件数／世帯数)	市区町村	経済産業省 「再生可能エネルギー発電設備」 https://www.enecho.meti.go.jp/category/saving_and_new/saiene/statistics/index.html
LI 7.3.1	エネルギー消費量当たりの県内総生産 (県内総生産／エネルギー消費量)	都道府県	経済産業省 「都道府県別エネルギー消費統計」 http://www.enecho.meti.go.jp/statistics/energy_consumption/ec002/results.html#headline2
LI 7.a.1	指標候補を調査中		

7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに



Goal 7「エネルギーをみんなにそしてクリーンに」

ゴール	ターゲット	グローバルインディケーター
	<p>7.b 2030 年までに、各々の支援プログラムに沿って開発途上国、特に後発開発途上国及び小島嶼開発途上国、内陸開発途上国の全ての人々に現代的で持続可能なエネルギーサービスを供給できるよう、インフラ拡大と技術向上を行う。</p> <p>By 2030, expand infrastructure and upgrade technology for supplying modern and sustainable energy services for all in developing countries, in particular least developed countries, small island developing States and landlocked developing countries, in accordance with their respective programmes of support</p>	<p>7.b.1 持続可能なサービスへのインフラや技術のための財源移行における GDP に占めるエネルギー効率への投資(%)及び海外直接投資の総量</p> <p>Investments in energy efficiency as a proportion of GDP and the amount of foreign direct investment in financial transfer for infrastructure and technology to sustainable development services</p>

ローカル指標(LI)(案)		データ入手可能性	データソース
LI 7.b.1	指標候補を調査中		
LI 7.X	人口 1 人当たりの電力エネルギー消費量 (電力エネルギー消費量／総人口)	都道府県	経済産業省 「都道府県別エネルギー消費統計」 http://www.enecho.meti.go.jp/statistics/energy_consumption/ec002/results.html#headline2
LI 7.X	自家発電割合(固有単位)	都道府県	経済産業省 資源エネルギー庁 「電力調査統計表」 https://www.enecho.meti.go.jp/statistics/energy_consumption/ec001/
LI 7.X	自家発電割合(熱量単位)	都道府県	経済産業省 資源エネルギー庁 「電力調査統計表」 https://www.enecho.meti.go.jp/statistics/energy_consumption/ec001/



Goal 8「働きがいも経済成長も」

ゴール	ターゲット	グローバルインディケーター
Goal 8. 包摂的かつ持続可能な経済成長及び全ての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用(ディーセント・ワーク)を促進する Goal 8. Promote sustained, inclusive and sustainable economic growth, full and productive employment and decent work for all	<p>8.1 各国の状況に応じて、一人当たり経済成長率を持続させる。特に後発開発途上国は少なくとも年率7%の成長率を保つ。 Sustain per capita economic growth in accordance with national circumstances and, in particular, at least 7 per cent gross domestic product growth per annum in the least developed countries</p> <p>8.2 高付加価値セクターや労働集約型セクターに重点を置くことなどにより、多様化、技術向上及びイノベーションを通じた高いレベルの経済生産性を達成する。 Achieve higher levels of economic productivity through diversification, technological upgrading and innovation, including through a focus on high-value added and labour-intensive sectors</p> <p>8.3 生産活動や適切な雇用創出、起業、創造性及びイノベーションを支援する開発重視型の政策を促進するとともに、金融サービスへのアクセス改善などを通じて中小零細企業の設立や成長を奨励する。 Promote development-oriented policies that support productive activities, decent job creation, entrepreneurship, creativity and innovation, and encourage the formalization and growth of micro-, small- and medium-sized enterprises, including through access to financial services</p> <p>8.4 2030 年までに、世界の消費と生産における資源効率を漸進的に改善させ、先進国主導の下、持続可能な消費と生産に関する 10 年計画枠組みに従い、経済成長と環境悪化の分断を図る。 Improve progressively, through 2030, global resource efficiency in consumption and production and endeavour to decouple economic growth from environmental degradation, in accordance with the 10 Year Framework of Programmes on Sustainable Consumption and Production, with developed countries taking the lead</p>	<p>8.1.1 一人当たりの実質 GDP の年間成長率 Annual growth rate of real GDP per capita</p> <p>8.2.1 労働者一人当たりの実質 GDP の年間成長率 Annual growth rate of real GDP per employed person</p> <p>8.3.1 農業以外におけるインフォーマル雇用の割合(性別ごと) Proportion of informal employment in non-agriculture employment, by sex</p> <p>8.4.1 マテリアルフットプリント(MF) 及び一人当たり、GDP 当たりの MF Material footprint, material footprint per capita, and material footprint per GDP(repeat of 12.2.1)</p> <p>8.4.2 国内総物質消費量(DMC) 及び1人当たり、GDP当たりの DMC Domestic material consumption, domestic material consumption per capita, and domestic material consumption per GDP(repeat of 12.2.2)</p>

ローカル指標(LI)(案)		データ入手可能性	データソース
LI 8.1.1.1	人口当たりの県内総生産 (県内総生産／総人口)	都道府県	内閣府 「県民経済計算」 https://www.esri.cao.go.jp/jp/sna/data/data_list/kenmin/files/files_kenmin.html
LI 8.1.1.2	人口当たりの県内総生産 対前年増加率	都道府県	内閣府 「県民経済計算」 https://www.esri.cao.go.jp/jp/sna/data/data_list/kenmin/files/files_kenmin.html
LI 8.2.1.1	就業者当たりの県内総生産 (県内総生産／就業者数)	都道府県	内閣府 「県民経済計算」 https://www.esri.cao.go.jp/jp/sna/data/data_list/kenmin/files/files_kenmin.html
LI 8.2.1.2	就業者当たりの県内総生産 対前年増加率	都道府県	内閣府 「県民経済計算」 https://www.esri.cao.go.jp/jp/sna/data/data_list/kenmin/files/files_kenmin.html
LI 8.3.1	指標候補を調査中		
LI 8.4.1	1人1日当たりのごみ排出量(家庭部門)	市区町村	環境省 「廃棄物処理技術情報」 http://www.env.go.jp/recycle/waste_tech/ippan/index.html
LI 8.4.2			



Goal 8「働きがいも経済成長も」

ゴール	ターゲット	グローバルインディケーター
ゴール8. 包摂的かつ持続可能な経済成長及び全ての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用（ディーセント・ワーク）を促進する	<p>8.5 2030 年までに、若者や障害者を含む全ての男性及び女性の、完全かつ生産的な雇用及び働きがいのある人間らしい仕事、並びに同一労働同一賃金を達成する。</p> <p>By 2030, achieve full and productive employment and decent work for all women and men, including for young people and persons with disabilities, and equal pay for work of equal value</p>	<p>8.5.1 女性及び男性労働者の平均時給(職業、年齢、障害者別)</p> <p>Average hourly earnings of female and male employees, by occupation, age and persons with disabilities</p>
	<p>8.6 2020 年までに、就労、就学及び職業訓練のいずれも行っていない若者の割合を大幅に減らす。</p> <p>By 2020, substantially reduce the proportion of youth not in employment, education or training</p>	<p>8.6.1 就労、就学及び職業訓練のいずれも行っていない 15～24 歳の若者の割合</p> <p>Proportion of youth (aged 15–24 years) not in education, employment or training</p>
	<p>8.7 強制労働を根絶し、現代の奴隸制、人身売買を終らせるための緊急かつ効果的な措置の実施、最悪な形態の児童労働の禁止及び撲滅を確保する。2025 年までに児童兵士の募集と使用を含むあらゆる形態の児童労働を撲滅する。</p> <p>Take immediate and effective measures to eradicate forced labour, end modern slavery and human trafficking and secure the prohibition and elimination of the worst forms of child labour, including recruitment and use of child soldiers, and by 2025 end child labour in all its forms</p>	<p>8.7.1 児童労働者(5～17 歳)の割合と数(性別、年齢別)</p> <p>Proportion and number of children aged 5–17 years engaged in child labour, by sex and age</p>
	<p>8.8 移住労働者、特に女性の移住労働者や不安定な雇用状態にある労働者など、全ての労働者の権利を保護し、安全・安心な労働環境を促進する。</p> <p>Protect labour rights and promote safe and secure working environments for all workers, including migrant workers, in particular women migrants, and those in precarious employment</p>	<p>8.8.1 致命的及び非致命的な労働災害の発生率(性別、移住状況別)</p> <p>Frequency rates of fatal and non-fatal occupational injuries, by sex and migrant status</p>
		<p>8.8.2 国際労働機関(ILO)原文ソース及び国内の法律に基づく、労働権利(結社及び団体交渉の自由)における国内コンプライアンスのレベル(性別、移住状況別)</p> <p>Level of national compliance of labour rights (freedom of association and collective bargaining) based on International Labour Organization (ILO) textual sources and national legislation, by sex and migrant status</p>

ローカル指標(LI)(案)		データ入手可能性	データソース
LI 8.5.1.1	労働者の平均時給 (所定内給与額／所定内実労働時間)	都道府県	厚生労働省 「賃金構造基本統計調査」 http://www.mhlw.go.jp/toukei/list/chinginkouzou.html
LI 8.5.1.2	パートタイムの給与(1時間当たり)	都道府県	厚生労働省 「賃金構造基本統計調査」 https://www.mhlw.go.jp/toukei/list/chinginkouzou.html
LI 8.5.1.3	短時間労働者の1時間当たり所定内給与額及び年間賞与 その他特別給与額	都道府県	厚生労働省 「賃金構造基本統計調査」 https://www.mhlw.go.jp/toukei/list/chinginkouzou.html
LI 8.5.2	失業率 (完全失業者数／労働力人口)	市区町村	総務省 「就業構造基本調査」 http://www.stat.go.jp/data/shugyou/2017/
LI 8.6.1	指標候補を調査中		
LI 8.7.1	15-17 歳の就業者割合 (15-17 歳の主に仕事をしている人口／15-17 歳の人口)	都道府県	総務省 「国勢調査」 http://www.stat.go.jp/data/kokusei/2015/index.html
LI 8.8.1	労災受給率 (新規労災受給者数／就業者数)	都道府県	厚生労働省 「労働者災害補償保険事業年報」 http://www.mhlw.go.jp/toukei/list/138-1b.html
LI 8.8.2.1	就業者当たりの超過労働時間 (超過労働時間／就業者数)	都道府県	厚生労働省 「賃金構造基本統計調査」 http://www.mhlw.go.jp/toukei/list/chinginkouzou.html
LI 8.8.2.2	離職率 (離職者数／(継続就業者数+転職者数+離職者数))	都道府県	総務省 「就業構造基本調査」 http://www.stat.go.jp/data/shugyou/2017/



Goal 8「働きがいも経済成長も」

ゴール	ターゲット	グローバルインディケーター
ゴール8. 包摂的かつ持続可能な経済成長及び全ての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用（ディーセンター・ワーク）を促進する Goal8. Promote sustained, inclusive and sustainable economic growth, full and productive employment and decent work for all	8.9 2030 年までに、雇用創出、地方の文化振興・產品販促につながる持続可能な観光業を促進するための政策を立案し実施する。 By 2030, devise and implement policies to promote sustainable tourism that creates jobs and promotes local culture and products	8.9.1 全 GDP 及び GDP 成長率に占める割合としての観光業の直接 GDP Tourism direct GDP as a proportion of total GDP and in growth rate
	8.10 国内の金融機関の能力を強化し、全ての人々の銀行取引、保険及び金融サービスへのアクセスを促進・拡大する。 Strengthen the capacity of domestic financial institutions to encourage and expand access to banking, insurance and financial services for all	8.10.1 成人 10 万人当たりの市中銀行の支店及び ATM 数 (a) Number of commercial bank branches per 100,000 adults and (b) number of automated teller machines (ATMs) per 100,000 adults 8.10.2 銀行や他の金融機関に口座を持つ、またはモバイルマネーサービスを利用する(15 歳以上の)成人の割合 Proportion of adults (15 years and older) with an account at a bank or other financial institution or with a mobile money service provider
	8.a 後発開発途上国への貿易関連技術支援のための拡大統合フレームワーク(EIF)などを通じた支援を含む、開発途上国、特に後発開発途上国に対する貿易のための援助を拡大する。 Increase Aid for Trade support for developing countries, in particular least developed countries, including through the Enhanced Integrated Framework for Trade-related Technical Assistance to Least Developed Countries	8.a.1 貿易のための援助に対するコミットメントや支出 Aid for Trade commitments and disbursements
	8.b 2020 年までに、若年雇用のための世界的戦略及び国際労働機関(ILO)の仕事に関する世界協定の実施を展開・運用化する。 By 2020, develop and operationalize a global strategy for youth employment and implement the Global Jobs Pact of the International Labour Organization	8.b.1 国家雇用戦略とは別途あるいはその一部として開発され運用されている若年雇用のための国家戦略の有無 Existence of a developed and operationalized national strategy for youth employment, as a distinct strategy or as part of a national employment strategy

ローカル指標(LI)(案)		データ入手可能性	データソース
LI 8.9.1	県内総生産当たりの観光消費額 (観光消費額／県内総生産)	都道府県	国土交通省 「観光入込客統計」 http://www.mlit.go.jp/kankochou/siryou/toukei/irikomi.html
LI 8.10.1	人口当たりの銀行数 (銀行数／総人口)	都道府県	総務省 「経済センサス」 http://www.stat.go.jp/data/e-census/
LI 8.10.2	指標候補を調査中		
LI 8.a.1	指標候補を調査中		
LI 8.b.1	指標候補を調査中		



Goal 9「産業と技術革新の基盤をつくる」

ゴール	ターゲット	グローバルインディケーター
ゴール9. 強靭(レジリエント)なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る Goal9. Build resilient infrastructure, promote inclusive and sustainable industrialization and foster innovation	<p>9.1 全ての人々に安価で公平なアクセスに重点を置いた経済発展と人間の福祉を支援するために、地域・越境インフラを含む質の高い、信頼でき、持続可能かつ強靭(レジリエント)なインフラを開発する。Develop quality, reliable, sustainable and resilient infrastructure, including regional and transborder infrastructure, to support economic development and human well-being, with a focus on affordable and equitable access for all</p>	<p>9.1.1 全季節利用可能な道路の2km 圏内に住んでいる地方の人口の割合 Proportion of the rural population who live within 2 km of an all-season road</p>
	<p>9.2 包摂的かつ持続可能な産業化を促進し、2030 年までに各國の状況に応じて雇用及び GDP に占める産業セクターの割合を大幅に増加させる。後発開発途上国については同割合を倍増させる。Promote inclusive and sustainable industrialization and, by 2030, significantly raise industry's share of employment and gross domestic product, in line with national circumstances, and double its share in least developed countries</p>	<p>9.1.2 旅客と貨物量(交通手段別) Passenger and freight volumes, by mode of transport</p> <p>9.2.1 一人当たり並びに GDP に占める製造業の付加価値の割合 Manufacturing value added as a proportion of GDP and per capita</p>
	<p>9.3 特に開発途上国における小規模の製造業その他の企業の、安価な資金貸付などの金融サービスやバリューチェーン及び市場への統合へのアクセスを拡大する。Increase the access of small-scale industrial and other enterprises, in particular in developing countries, to financial services, including affordable credit, and their integration into value chains and markets</p>	<p>9.2.2 全労働者数に占める製造業労働者数の割合 Manufacturing employment as a proportion of total employment</p> <p>9.3.1 製造業の合計付加価値のうち小規模製造業の占める割合 Proportion of small-scale industries in total industry value added</p>
	<p>9.4 2030 年までに、資源利用効率の向上とクリーン技術及び環境に配慮した技術・産業プロセスの導入拡大を通じたインフラ改良や産業改善により、持続可能性を向上させる。全ての国々は各国の能力に応じた取組を行う。By 2030, upgrade infrastructure and retrofit industries to make them sustainable, with increased resource-use efficiency and greater adoption of clean and environmentally sound technologies and industrial processes, with all countries taking action in accordance with their respective capabilities</p>	<p>9.3.2 ローン又は与信限度額が設定された小規模製造業の割合 Proportion of small-scale industries with a loan or line of credit</p> <p>9.4.1 付加価値の単位当たりの CO2 排出量 CO2 emission per unit of value added</p>

ローカル指標(LI)(案)		データ入手可能性	データソース
LI 9.1.1.1	舗装道路割合 (舗装道路実延長／道路実延長)	市区町村	国土交通省 「道路統計年報」 http://www.mlit.go.jp/road/ir/ir-data/tokei-nen/index.html
LI 9.1.1.2	最寄りの交通機関までの距離が○○m 以下となる住宅数 (・駅まで 200m 未満 ・駅まで 200～500m ・駅まで 500～1,000m ・駅まで 1,000～2,000m ・駅まで 2,000m 以上)	都道府県	総務省 「住宅・土地統計調査」 http://www.stat.go.jp/data/jyutaku/index.html
LI 9.1.2	指標候補を調査中		
LI 9.2.1.1	人口当たりの製造業粗付加価値額 (製造業粗付加価値額／総人口)	市区町村	経済産業省 「工業統計調査」 http://www.meti.go.jp/statistics/tyo/kougyo/result-2.html
LI 9.2.1.2	県内総生産当たりの製造業粗付加価値額 (製造業粗付加価値額／県内総生産)	市区町村	経済産業省 「工業統計調査」 http://www.meti.go.jp/statistics/tyo/kougyo/result-2.html
LI 9.2.2	製造業労働者割合 (製造業労働者数／全労働者数)	市区町村	経済産業省 「工業統計調査」 http://www.meti.go.jp/statistics/tyo/kougyo/result-2.html
LI 9.3.1	指標候補を調査中		
LI 9.3.2	指標候補を調査中		
LI 9.4.1	県内総生産当たりの CO ₂ 排出量 (CO ₂ 排出量／県内総生産)	都道府県	経済産業省 「工業統計調査」 http://www.meti.go.jp/statistics/tyo/kougyo/result-2.html

9 産業と技術革新の基盤をつくろう



Goal 9「産業と技術革新の基盤をつくろう」

ゴール	ターゲット	グローバルインディケーター
ゴール9. 強靭(レジリエント)なインフラ構築、包摶的かつ持続可能な 産業化の促進及びイノベーションの推進を図る Goal9. Build resilient infrastructure, promote inclusive and sustainable industrialization and foster innovation	9.5 2030 年までにイノベーションを促進させることや 100 万人当たりの研究開発従事者数を大幅に増加させ、また官民研究開発の支出を拡大させるなど、開発途上国をはじめとする全ての国々の産業セクターにおける科学的研究を促進し、技術能力を向上させる。 Enhance scientific research, upgrade the technological capabilities of industrial sectors in all countries, in particular developing countries, including, by 2030, encouraging innovation and substantially increasing the number of research and development workers per 1 million people and public and private research and development spending	9.5.1 GDP に占める研究開発への支出 Research and development expenditure as a proportion of GDP 9.5.2 100 万人当たりの研究者(フルタイム相当) Researchers (in full-time equivalent) per million inhabitants
	9.a アフリカ諸国、後発開発途上国、内陸開発途上国及び小島嶼開発途上国への金融・テクノロジー・技術の支援強化を通じて、開発途上国における持続可能かつ強靭(レジリエント)なインフラ開発を促進する。 Facilitate sustainable and resilient infrastructure development in developing countries through enhanced financial, technological and technical support to African countries, least developed countries, landlocked developing countries and small island developing States	9.a.1 インフラへの公的国際支援の総額(ODA その他公的フロー) Total official international support (official development assistance plus other official flows) to infrastructure
	9.b 産業の多様化や商品への付加価値創造などに資する政策環境の確保などを通じて、開発途上国の国内における技術開発、研究及びイノベーションを支援する。 Support domestic technology development, research and innovation in developing countries, including by ensuring a conducive policy environment for, inter alia, industrial diversification and value addition to commodities	9.b.1 全付加価値における中位並びに先端テクノロジー産業の付加価値の割合 Proportion of medium and high-tech industry value added in total value added
	9.c 後発開発途上国において情報通信技術へのアクセスを大幅に向上させ、2020 年までに普遍的かつ安価なインターネットアクセスを提供できるよう図る。 Significantly increase access to information and communications technology and strive to provide universal and affordable access to the Internet in least developed countries by 2020	9.c.1 モバイルネットワークにアクセス可能な人口の割合(技術別) Proportion of population covered by a mobile network, by technology

ローカル指標(LI)(案)		データ入手可能性	データソース
LI 9.5.1	県内総生産当たりの研究開発費 (研究開発費支出総額／県内総生産)	都道府県	総務省 「科学技術研究調査」 http://www.stat.go.jp/data/kagaku/kekka/index.htm
LI 9.5.2.1	100万人当たりの研究者数 (研究者数／総人口)×1,000,000	都道府県	総務省 「科学技術研究調査」 http://www.stat.go.jp/data/kagaku/kekka/index.htm
LI 9.5.2.2	発明者数割合 (発明者数／総人口)	都道府県	特許庁 「特許行政年次報告書(統計・資料編)」 https://www.jpo.go.jp/resources/statistics/nenji/index.html
LI 9.a.1	土木費割合 (土木費／全歳出)	市区町村	総務省 「市町村別決算状況調」 http://www.soumu.go.jp/iken/kessan_jokyo_2.html
LI 9.b.1	全粗付加価値額に占める粗付加価値額(電気機械器具製造業) (粗付加価値額(電気機械器具製造業)／製造業粗付加価値額)	都道府県	経済産業省 「工業統計調査」 http://www.meti.go.jp/statistics/tyo/kougyo/result-2.html
LI 9.c.1	インターネット普及率	都道府県	総務省 「情報通信白書」 http://www.soumu.go.jp/johotsusintokei/whitepaper/index.html



Goal 10「人や国の不平等をなくそう」

ゴール	ターゲット	グローバルインディケーター
Goal 10. Reduce inequality within and among countries ゴール 10. 各国内及び各国間の不平等を是正する	10.1 2030 年までに、各国の所得下位 40% の所得成長率について、国内平均を上回る数値を漸進的に達成し、持続させる。 By 2030, progressively achieve and sustain income growth of the bottom 40 per cent of the population at a rate higher than the national average	10.1.1 1 人当たりの家計支出又は所得の成長率(人口の下位 40% のもの、総人口のもの) Growth rates of household expenditure or income per capita among the bottom 40 per cent of the population and the total population
	10.2 2030 年までに、年齢、性別、障害、人種、民族、出自、宗教、あるいは経済的地位その他の状況に関わりなく、全ての人々の能力強化及び社会的、経済的及び政治的な包含を促進する。 By 2030, empower and promote the social, economic and political inclusion of all, irrespective of age, sex, disability, race, ethnicity, origin, religion or economic or other status	10.2.1 中位所得の半分未満で生活する人口の割合(年齢、性別、障害者別) Proportion of people living below 50 per cent of median income, by sex, age and persons with disabilities
	10.3 差別的な法律、政策及び慣行の撤廃、並びに適切な関連法規、政策、行動の促進などを通じて、機会均等を確保し、成果の不平等を是正する。 Ensure equal opportunity and reduce inequalities of outcome, including by eliminating discriminatory laws, policies and practices and promoting appropriate legislation, policies and action in this regard	10.3.1 過去 12 か月に個人的に国際人権法の下に禁止されている差別又は嫌がらせを感じたと報告した人口の割合 Proportion of population reporting having personally felt discriminated against or harassed in the previous 12 months on the basis of a ground of discrimination prohibited under international human rights law(repeat of 16.b.1)
	10.4 税制、賃金、社会保障政策をはじめとする政策を導入し、平等の拡大を漸進的に達成する。 Adopt policies, especially fiscal, wage and social protection policies, and progressively achieve greater equality	10.4.1 GDP の労働分配率(賃金と社会保障給付) Labour share of GDP, comprising wages and social protection transfers
	10.5 世界金融市場と金融機関に対する規制とモニタリングを改善し、こうした規制の実施を強化する。 Improve the regulation and monitoring of global financial markets and institutions and strengthen the implementation of such regulations	10.5.1 金融健全性指標 Financial Soundness Indicators
	10.6 地球規模の国際経済・金融制度の意思決定における開発途上国の参加や発言力を拡大させることにより、より効果的に信用力があり、説明責任のある正当な制度を実現する。 Ensure enhanced representation and voice for developing countries in decision-making in global international economic and financial institutions in order to deliver more effective, credible, accountable and legitimate institutions	10.6.1 国際機関における開発途上国のメンバー数及び投票権の割合 Proportion of members and voting rights of developing countries in international organizations(repeat of 16.8.1)
	10.7 計画に基づき良好に管理された移民政策の実施などを通じて、秩序のとれた、安全で規則的かつ責任ある移住や流動性を促進する。 Facilitate orderly, safe, regular and responsible migration and mobility of people, including through the implementation of planned and well-managed migration policies	10.7.1 移住先の国における年収に対する労働者の採用において発生した費用の割合 Recruitment cost borne by employee as a proportion of yearly income earned in country of destination 10.7.2 十分に管理された移民政策を実施している国の数 Number of countries that have implemented well-managed migration policies

ローカル指標(LI)(案)		データ入手可能性	データソース
LI 10.1.1	指標候補を調査中		
LI 10.2.1.1	相対的貧困世帯割合 (・100万円未満の世帯／全世帯 ・200万円未満の世帯／全世帯 ・300万円未満の世帯／全世帯 ・400万円未満の世帯／全世帯 ・500万円未満の世帯／全世帯)	市区町村	総務省 「住宅・土地統計調査」 http://www.stat.go.jp/data/jyutaku/2013/tyousake.html
LI 10.2.1.2	ジニ係数	都道府県	総務省 「全国消費実態調査」 http://www.stat.go.jp/data/zensho/2014/index.html
LI 10.3.1	指標候補を調査中		
LI 10.4.1	労働生産性 (付加価値額／従業員数)	都道府県	経済産業省 「企業活動基本調査」 http://www.meti.go.jp/statistics/tyo/kikatu/result-2.html
LI 10.5.1	指標候補を調査中		
LI 10.6.1	指標候補を調査中		
LI 10.7.1	指標候補を調査中		
LI 10.7.2	指標候補を調査中		



Goal 10「人や国の不平等をなくそう」

ゴール	ターゲット	グローバルインディケーター
Goal 10. 各国内及び各国間の不平等を是正する。	<p>10.a 世界貿易機関(WTO)協定に従い、開発途上国、特に後発開発途上国に対する特別かつ異なる待遇の原則を実施する。 Implement the principle of special and differential treatment for developing countries, in particular least developed countries, in accordance with World Trade Organization agreements</p>	<p>10.a.1 ゼロ関税の後発開発途上国及び開発途上国からの輸入に対し課した関税ラインの割合 Proportion of tariff lines applied to imports from least developed countries and developing countries with zero-tariff</p>
	<p>10.b 各国の国家計画やプログラムに従って、後発開発途上国、アフリカ諸国、小島嶼開発途上国及び内陸開発途上国を始めとする、ニーズが最も大きい国々への、政府開発援助(ODA)及び海外直接投資を含む資金の流入を促進する。 Encourage official development assistance and financial flows, including foreign direct investment, to States where the need is greatest, in particular least developed countries, African countries, small island developing States and landlocked developing countries, in accordance with their national plans and programmes</p>	<p>10.b.1 開発のためのリソースフローの総額(受援国及び援助国、フローの流れ(例:ODA、外国直接投資、その他)別) Total resource flows for development, by recipient and donor countries and type of flow (e.g. official development assistance, foreign direct investment and other flows)</p>
	<p>10.c 2030 年までに、移住労働者による送金コストを3%未満に引き下げ、コストが 5%を越える送金経路を撤廃する。 By 2030, reduce to less than 3 per cent the transaction costs of migrant remittances and eliminate remittance corridors with costs higher than 5 per cent</p>	<p>10.c.1 総送金額の割合に占める送金コスト Remittance costs as a proportion of the amount remitted</p>

ローカル指標(LI)(案)		データ入手可能性	データソース
LI 10.a.1	指標候補を調査中		
LI 10.b.1	指標候補を調査中		
LI 10.c.1	指標候補を調査中		



Goal 11「住み続けられるまちづくりを」

ゴール	ターゲット	グローバルインディケーター
11.1 2030 年までに、全ての人々の、適切、安全かつ安価な住宅及び基本的サービスへのアクセスを確保し、スラムを改善する。 By 2030, ensure access for all to adequate, safe and affordable housing and basic services and upgrade slums	11.1.1 スラム、非正規の居住や不適切な住宅に居住する都市人口の割合 Proportion of urban population living in slums, informal settlements or inadequate housing	
11.2 2030 年までに、脆弱な立場にある人々、女性、子供、障害者及び高齢者のニーズに特に配慮し、公共交通機関の拡大などを通じた交通の安全性改善により、全ての人々に、安全かつ安価で容易に利用できる、持続可能な輸送システムへのアクセスを提供する。 By 2030, provide access to safe, affordable, accessible and sustainable transport systems for all, improving road safety, notably by expanding public transport, with special attention to the needs of those in vulnerable situations, women, children, persons with disabilities and older persons	11.2.1 公共交通機関へ容易にアクセスできる人口の割合(性別、年齢、障害者別) Proportion of population that has convenient access to public transport, by sex, age and persons with disabilities	
11.3 2030 年までに、包摂的かつ持続可能な都市化を促進し、全ての国々の参加型、包摂的かつ持続可能な人間居住計画・管理の abilities を強化する。 By 2030, enhance inclusive and sustainable urbanization and capacity for participatory, integrated and sustainable human settlement planning and management in all countries	11.3.1 人口増加率と土地利用率の比率 Ratio of land consumption rate to population growth rate	
	11.3.2 定期的かつ民主的に行われている都市計画及び管理において、市民社会構造に直接参加できる都市の割合 Proportion of cities with a direct participation structure of civil society in urban planning and management that operate regularly and democratically	

ゴール11. 包摂的で安全かつ強靭(ジンヨウ)で持続可能な都市及び人間居住を実現する
 Goal11. Make cities and human settlements inclusive, safe, resilient and sustainable

ローカル指標(LI)(案)		データ入手可能性	データソース
LI 11.1.1.1	ホームレス割合 (ホームレスの数／総人口)	都道府県	厚生労働省 「ホームレスの実態に関する全国調査結果について」 http://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/0000122778.html
LI 11.1.1.2	最低居住面積水準以下世帯割合 (最低居住面積水準以下世帯／総世帯)	都道府県	総務省 「住宅・土地統計調査」 http://www.stat.go.jp/data/jyutaku/index.html
LI 11.2.1.1	鉄道・電車・バスの利用割合 (15歳以上自宅外通勤・通学者で鉄道・電車・バスを利用している人数／15歳以上自宅外通勤・通学者数)	市区町村	総務省 「国勢調査」 http://www.stat.go.jp/data/kokusei/2015/index.htm
LI 11.2.1.2	最寄りの交通機関までの距離が○○m 以下となる住宅数 (・駅まで 200m 未満 ・駅まで 200～500m ・駅まで 500～1,000m ・駅まで 1,000～2,000m ・駅まで 2,000m 以上)	都道府県	総務省 「住宅・土地統計調査」 http://www.stat.go.jp/data/jyutaku/index.html
LI 11.3.1.1	人口増減 ((出生数-死亡数)+(転入数-転出数)／総人口)	市区町村	総務省 「人口推計」 http://www.stat.go.jp/data/kokusei/2015/index.htm
LI 11.3.1.2	人口自然増減 ((出生数-死亡数)／総人口)	市区町村	総務省 「人口推計」 http://www.stat.go.jp/data/kokusei/2015/index.htm
LI 11.3.1.3	人口社会増減 ((転入数-転出数)／総人口)	市区町村	総務省 「人口推計」 http://www.stat.go.jp/data/kokusei/2015/index.htm
LI 11.3.1.4	市街化調整区域面積割合 (市街化調整区域面積／総面積)	都道府県	国土交通省 「都市計画現況調査」 http://www.mlit.go.jp/toshi/tosiko/genkyou.html
LI 11.3.1.5	市街化調整区域内人口割合 (市街化調整区域内人口／総人口)	都道府県	国土交通省 「都市計画現況調査」 http://www.mlit.go.jp/toshi/tosiko/genkyou.html
LI 11.3.2	指標候補を調査中		



Goal 11「住み続けられるまちづくりを」

ゴール	ターゲット	グローバルインディケーター
ゴール 11. 包摂的で安全かつ強靭(レジリエント)で持続可能な都市及び人間居住を実現する Goal11. Make cities and human settlements inclusive, safe, resilient and sustainable	<p>11.4 世界の文化遺産及び自然遺産の保護・保全の努力を強化する。 Strengthen efforts to protect and safeguard the world's cultural and natural heritage</p>	<p>11.4.1 全ての文化及び自然遺産の保全、保護及び保存における総支出額(公的部門、民間部門)(遺産のタイプ別(文化、自然、混合、世界遺産に登録されているもの)、政府レベル別(国、地域、地方、市)、支出タイプ別(営業費、投資)、民間資金のタイプ別(寄付、非営利部門、後援)) Total expenditure (public and private) per capita spent on the preservation, protection and conservation of all cultural and natural heritage, by type of heritage (cultural, natural, mixed and World Heritage Centre designation), level of government (national, regional and local/municipal), type of expenditure (operating expenditure/investment) and type of private funding (donations in kind, private non-profit sector and sponsorship)</p>
	<p>11.5 2030 年までに、貧困層及び脆弱な立場にある人々の保護に焦点をあてながら、水関連災害などの災害による死者や被災者数を大幅に削減し、世界の国内総生産比で直接的経済損失を大幅に減らす。 By 2030, significantly reduce the number of deaths and the number of people affected and substantially decrease the direct economic losses relative to global gross domestic product caused by disasters, including water-related disasters, with a focus on protecting the poor and people in vulnerable situations</p>	<p>11.5.1 10 万人当たりの災害による死者数、行方不明者数、直接受ける負傷者数 Number of deaths, missing persons and directly affected persons attributed to disasters per 100,000 population (repeat of 1.5.1 and 13.1.1) 11.5.2 災害によって起こった、グローバルな GDP に関連した直接的な経済損失、甚大なインフラ被害及び基本サービスの中止の件数 Direct economic loss in relation to global GDP, damage to critical infrastructure and number of disruptions to basic services, attributed to disasters</p>
	<p>11.6 2030 年までに、大気の質及び一般並びにその他の廃棄物の管理に特別な注意を払うことによるものを含め、都市の一人当たりの環境上の悪影響を軽減する。 By 2030, reduce the adverse per capita environmental impact of cities, including by paying special attention to air quality and municipal and other waste management</p>	<p>11.6.1 都市で生成される廃棄物について、都市部で定期的に回収し適切に最終処理されている固形廃棄物の割合 Proportion of urban solid waste regularly collected and with adequate final discharge out of total urban solid waste generated, by cities 11.6.2 都市部における微粒子物質(例:PM2.5 や PM10)の年平均レベル(人口で加重平均したもの) Annual mean levels of fine particulate matter (e.g. PM2.5 and PM10) in cities (population weighted)</p>

ローカル指標(LI)(案)		データ入手可能性	データソース
LI 11.4.1	平均文化財保存事業費(補助金の交付額) (補助金額／補助金交付件数)	都道府県	文化庁 「文化財等補助金等」 http://www.bunka.go.jp/seisaku/bunkazai/joseishien/hoho/
LI 11.5.1	災害等の自然外因による死者割合 (災害等の自然外因による死者者数／総死亡者数)	都道府県	厚生労働省 「人口動態統計」 http://www.mhlw.go.jp/toukei/list/81-1a.html
LI 11.5.2	災害復旧費割合 (自治体歳出の災害復旧費／全歳出)	市区町村	総務省 「市町村別決算状況調」 http://www.soumu.go.jp/iken/kessan_jokyo_2.html
LI 11.6.1	廃棄物の最終処分割合 (最終処分量／ごみの総排出量)	市区町村	環境省 「廃棄物処理技術情報」 http://www.env.go.jp/recycle/waste_tech/ippan/stats.html
LI 11.6.2.1	微小粒子状物質(PM2.5)年平均値($\mu\text{ g}/\text{m}^3$)	観測センターのある 市区町村	国立環境研究所 「環境 GIS」 https://www.nies.go.jp/igreen/
LI 11.6.2.2	光化学オキシダント(Ox)濃度の昼間1時間値が0.12ppm以上であった日数	観測センターのある 市区町村	国立環境研究所 「環境 GIS」 https://www.nies.go.jp/igreen/
LI 11.6.2.3	窒素酸化物(NOx)年平均値(ppm)	観測センターのある 市区町村	国立環境研究所 「環境 GIS」 https://www.nies.go.jp/igreen/
LI 11.6.2.4	二酸化硫黄(SO ₂)年平均値(ppm)	観測センターのある 市区町村	国立環境研究所 「環境 GIS」 https://www.nies.go.jp/igreen/



Goal 11「住み続けられるまちづくりを」

ゴール	ターゲット	グローバルインディケーター
ゴール 11. 包摂的で安全かつ強靭(ヘジリエーブル)で持続可能な都市及び人間居住を実現する Goal 11. Make cities and human settlements inclusive, safe, resilient and sustainable	<p>11.7 2030 年までに、女性、子供、高齢者及び障害者を含め、人々に安全で包摂的かつ利用が容易な緑地や公共スペースへの普遍的アクセスを提供する。</p> <p>By 2030, provide universal access to safe, inclusive and accessible, green and public spaces, in particular for women and children, older persons and persons with disabilities</p>	<p>11.7.1 各都市部の建物密集区域における公共スペースの割合の平均(性別、年齢、障害者別)</p> <p>Average share of the built-up area of cities that is open space for public use for all, by sex, age and persons with disabilities</p>
	<p>11.a 各国・地域規模の開発計画の強化を通じて、経済、社会、環境面における都市部、都市周辺部及び農村部間の良好なつながりを支援する。</p> <p>Support positive economic, social and environmental links between urban, peri-urban and rural areas by strengthening national and regional development planning</p>	<p>11.7.2 過去 12 か月における身体的又は性的ハラスメントの犠牲者の割合(性別、年齢、障害状況、発生場所別)</p> <p>Proportion of persons victim of physical or sexual harassment, by sex, age, disability status and place of occurrence, in the previous 12 months</p> <p>11.a.1 人口予測とリソース需要について取りまとめながら都市及び地域開発計画を実行している都市に住んでいる人口の割合(都市の規模別)</p> <p>Proportion of population living in cities that implement urban and regional development plans integrating population projections and resource needs, by size of city</p>

ローカル指標(LI)(案)		データ入手可能性	データソース
LI 11.7.1.1	面積当たりの図書館数 (図書館数／可住地面積)	市区町村	総務省 「公共施設状況調経年比較表」 http://www.soumu.go.jp/iken/shisetsu/
LI 11.7.1.2	面積当たりの公民館数 (公民館数／可住地面積)	市区町村	総務省 「公共施設状況調経年比較表」 http://www.soumu.go.jp/iken/shisetsu/
LI 11.7.1.3	面積当たりの図書館数、公民館数 ((図書館数+公民館数)／可住地面積)	市区町村	総務省 「公共施設状況調経年比較表」 http://www.soumu.go.jp/iken/shisetsu/
LI 11.7.1.4	面積当たりの図書館面積 (図書館延面積／可住地面積)	市区町村	総務省 「公共施設状況調経年比較表」 http://www.soumu.go.jp/iken/shisetsu/
LI 11.7.1.5	面積当たりの公民館面積 (公民館延面積／可住地面積)	市区町村	総務省 「公共施設状況調経年比較表」 http://www.soumu.go.jp/iken/shisetsu/
LI 11.7.1.6	面積当たりの図書館面積、公民館面積 ((図書館延面積+公民館延面積)／可住地面積)	市区町村	総務省 「公共施設状況調経年比較表」 http://www.soumu.go.jp/iken/shisetsu/
LI 11.7.1.7	人口当たりの公園数 (公園箇所数／総人口)	市区町村	総務省 「公共施設状況調経年比較表」 http://www.soumu.go.jp/iken/shisetsu/
LI 11.7.1.8	人口当たりの公園面積 (公園面積／総人口)	市区町村	総務省 「公共施設状況調経年比較表」 http://www.soumu.go.jp/iken/shisetsu/
LI 11.7.1.9	面積当たりの公園面積 (公園面積／可住地面積)	市区町村	総務省 「公共施設状況調経年比較表」 http://www.soumu.go.jp/iken/shisetsu/
LI 11.7.2	人口当たりの性犯罪者認知件数 (性犯罪者認知件数／総人口)	都道府県	警視庁 「犯罪統計」 https://www.npa.go.jp/publications/statistics/sousa/year.html
LI 11.a.1.1	市街化調整区域内人口割合 (市街化調整区域内人口／総人口)	都道府県	国土交通省 「都市計画現況調査」 http://www.mlit.go.jp/toshi/tosiko/genkyou.html
LI 11.a.1.2	地域サポートを設置している市区町村の割合	都道府県	消費者庁 「地方消費者行政の現状」 https://www.caa.go.jp/policies/policy/local_cooperation/local_consumer_administration/status_investigation/



Goal 11「住み続けられるまちづくりを」

ゴール	ターゲット	グローバルインディケーター
	<p>11.b 2020 年までに、包含、資源効率、気候変動の緩和と適応、災害に対する強靭さ(レジリエンス)を目指す総合的政策及び計画を導入・実施した都市及び人間居住地の件数を大幅に増加させ、仙台防災枠組 2015–2030 に沿って、あらゆるレベルでの総合的な災害リスク管理の策定と実施を行う。</p> <p>By 2020, substantially increase the number of cities and human settlements adopting and implementing integrated policies and plans towards inclusion, resource efficiency, mitigation and adaptation to climate change, resilience to disasters, and develop and implement, in line with the Sendai Framework for Disaster Risk Reduction 2015–2030, holistic disaster risk management at all levels</p>	<p>11.b.1 仙台防災枠組 2015–2030 に沿った国家レベルの防災戦略を採択し実行している国数 Number of countries that adopt and implement national disaster risk reduction strategies in line with the Sendai Framework for Disaster Risk Reduction 2015–2030 (repeat of 1.5.3 and 13.1.2)</p>
		<p>11.b.2 仙台防災枠組 2015–2030 に沿った地方レベルの防災戦略を採択し実行している地方政府の割合 Proportion of local governments that adopt and implement local disaster risk reduction strategies in line with national disaster risk reduction strategies (repeat of 1.5.4 and 13.1.3)</p>
	<p>11.c 財政的及び技術的な支援などを通じて、後発開発途上国における現地の資材を用いた、持続可能かつ強靭(レジリエント)な建造物の整備を支援する。</p> <p>Support least developed countries, including through financial and technical assistance, in building sustainable and resilient buildings utilizing local materials</p>	<p>11.c.1 現地の資材を用いた、持続可能で強靭(レジリエント)で資源が効率的である建造物の建設及び改築に割り当てられた後発開発途上国への財政援助の割合 Proportion of financial support to the least developed countries that is allocated to the construction and retrofitting of sustainable, resilient and resource-efficient buildings utilizing local materials</p>

ローカル指標(LI)(案)		データ入手可能性	データソース
LI 11.b.1	防災会議を設置している市区町村の割合	都道府県	総務省 「地方防災行政の現況」 http://www.fdma.go.jp/disaster/chihoubousai/
LI 11.b.2			
LI 11.c.1			
LI 11.X	人口 10 万人当たりの火災死傷者数	都道府県	総務省消防庁 「消防統計」 https://www.fdma.go.jp/pressrelease/statistics/
LI 11.X	人口 10 万人当たりの火災出火件数	都道府県	総務省消防庁 「消防統計」 https://www.fdma.go.jp/pressrelease/statistics/



Goal 12「つくる責任つかう責任」

ゴール	ターゲット	グローバルインディケーター
Goal 12. Ensure sustainable consumption and production patterns ゴール12 持続可能な生産消費形態を確保する	12.1 開発途上国の開発状況や能力を勘案しつつ、持続可能な消費と生産に関する 10 年計画枠組み(10YFP)を実施し、先進国主導の下、全ての国々が対策を講じる。 Implement the 10 Year Framework of Programmes on Sustainable Consumption and Production Patterns, all countries taking action, with developed countries taking the lead, taking into account the development and capabilities of developing countries	12.1.1 持続可能な消費と生産(SCP)に関する国家行動計画を持っている、又は国家政策に優先事項もしくはターゲットとしてSCPが組み込まれている国の数 Number of countries with sustainable consumption and production (SCP) national action plans or SCP mainstreamed as a priority or a target into national policies
	12.2 2030 年までに天然資源の持続可能な管理及び効率的な利用を達成する。 By 2030, achieve the sustainable management and efficient use of natural resources	12.2.1 マテリアルフットプリント(MF) 及び一人当たり、GDP 当たりの MF Material footprint, material footprint per capita, and material footprint per GDP(repeat of 8.4.1)
	12.3 2030 年までに小売・消費レベルにおける世界全体の一人当たりの食料の廃棄を半減させ、収穫後損失などの生産・サプライチェーンにおける食品ロスを減少させる。 By 2030, halve per capita global food waste at the retail and consumer levels and reduce food losses along production and supply chains, including post-harvest losses	12.3.1 グローバル食品ロス指数(GFLI) Global food loss index
	12.4 2020 年までに、合意された国際的な枠組みに従い、製品ライフサイクルを通じ、環境上適正な化学物質や全ての廃棄物の管理を実現し、人の健康や環境への悪影響を最小化するため、化学物質や廃棄物の大気、水、土壤への放出を大幅に削減する。 By 2020, achieve the environmentally sound management of chemicals and all wastes throughout their life cycle, in accordance with agreed international frameworks, and significantly reduce their release to air, water and soil in order to minimize their adverse impacts on human health and the environment	12.4.1 有害廃棄物や他の化学物質に関する国際多国間環境協定で求められる情報の提供(報告)の義務を果たしている締約国の数 Number of parties to international multilateral environmental agreements on hazardous waste, and other chemicals that meet their commitments and obligations in transmitting information as required by each relevant agreement
	12.5 2030 年までに、廃棄物の発生防止、削減、再生利用及び再利用により、廃棄物の発生を大幅に削減する。 By 2030, substantially reduce waste generation through prevention, reduction, recycling and reuse	12.5.1 各国の再生利用率、リサイクルされた物質のトン数 National recycling rate, tons of material recycled
	12.6 特に大企業や多国籍企業などの企業に対し、持続可能な取り組みを導入し、持続可能性に関する情報を定期報告に盛り込むよう奨励する。 Encourage companies, especially large and transnational companies, to adopt sustainable practices and to integrate sustainability information into their reporting cycle	12.6.1 持続可能性に関する報告書を発行する企業の数 Number of companies publishing sustainability reports

ローカル指標(LI)(案)		データ入手可能性	データソース
LI 12.1.1	指標候補を調査中		
LI 12.2.1	1人1日当たりのごみ排出量(家庭部門)	市区町村	環境省 「廃棄物処理技術情報」 http://www.env.go.jp/recycle/waste_tech/ippan/index.html
LI 12.2.2	指標候補を調査中		
LI 12.3.1	指標候補を調査中		
LI 12.4.1	指標候補を調査中		
LI 12.4.2	有害廃棄物割合 (その他の廃棄物／廃棄物の総搬入量)	市区町村	環境省 「廃棄物処理技術情報」 http://www.env.go.jp/recycle/waste_tech/ippan/index.html
LI 12.5.1	ごみのリサイクル率	市区町村	環境省 「廃棄物処理技術情報」 http://www.env.go.jp/recycle/waste_tech/ippan/index.html
LI 12.6.1	指標候補を調査中		



Goal 12「つくる責任つかう責任」

ゴール	ターゲット	グローバルインディケーター
Goal 12. Ensure sustainable consumption and production patterns ゴール 12 持続可能な生産消費形態を確保する	12.7 国内の政策や優先事項に従って持続可能な公共調達の慣行を促進する。 Promote public procurement practices that are sustainable, in accordance with national policies and priorities	12.7.1 持続可能な公的調達政策及び行動計画を実施している国数 Number of countries implementing sustainable public procurement policies and action plans
	12.8 2030 年までに、人々があらゆる場所において、持続可能な開発及び自然と調和したライフスタイルに関する情報と意識を持つようとする。 By 2030, ensure that people everywhere have the relevant information and awareness for sustainable development and lifestyles in harmony with nature	12.8.1 気候変動教育を含む、(i)地球市民教育、及び(ii)持続可能な開発のための教育が、(a)各国の教育政策、(b) カリキュラム、(c) 教師の教育、及び(d)児童・生徒・学生の達成度評価に関して、全ての教育段階において主流化されているレベル Extent to which (i) global citizenship education and (ii) education for sustainable development (including climate change education) are mainstreamed in (a) national education policies ;(b) curricula ;(c) teacher education ;and (d) student assessment
	12.a 開発途上国に対し、より持続可能な消費・生産形態の促進のための科学的・技術的能力の強化を支援する。 Support developing countries to strengthen their scientific and technological capacity to move towards more sustainable patterns of consumption and production	12.a.1 持続可能な消費、生産形態及び環境に配慮した技術のための研究開発に係る開発途上国への支援総額 Amount of support to developing countries on research and development for sustainable consumption and production and environmentally sound technologies
	12.b 雇用創出、地方の文化振興・產品販促につながる持続可能な観光業に対して持続可能な開発がもたらす影響を測定する手法を開発・導入する。 Develop and implement tools to monitor sustainable development impacts for sustainable tourism that creates jobs and promotes local culture and products	12.b.1 承認された評価監視ツールのある持続可能な観光戦略や政策、実施された行動計画の数 Number of sustainable tourism strategies or policies and implemented action plans with agreed monitoring and evaluation tools
	12.c 開発途上国の特別なニーズや状況を十分考慮し、貧困層やコミュニティを保護する形で開発に関する悪影響を最小限に留めつつ、税制改正や、有害な補助金が存在する場合はその環境への影響を考慮してその段階的廃止などを通じ、各国の状況に応じて、市場のひずみを除去することで、浪費的な消費を奨励する、化石燃料に対する非効率な補助金を合理化する。 Rationalize inefficient fossil-fuel subsidies that encourage wasteful consumption by removing market distortions, in accordance with national circumstances, including by restructuring taxation and phasing out those harmful subsidies, where they exist, to reflect their environmental impacts, taking fully into account the specific needs and conditions of developing countries and minimizing the possible adverse impacts on their development in a manner that protects the poor and the affected communities	12.c.1 GDP(生産及び消費)の単位当たり及び化石燃料の国家支出総額に占める化石燃料補助金 Amount of fossil-fuel subsidies per unit of GDP (production and consumption) and as a proportion of total national expenditure on fossil fuels

ローカル指標(LI)(案)		データ入手可能性	データソース
LI 12.7.1	指標候補を調査中		
LI 12.8.1	指標候補を調査中		
LI 12.a.1	指標候補を調査中		
LI 12.b.1	指標候補を調査中		
LI 12.c.1	指標候補を調査中		

13 気候変動に
具体的な対策を

Goal 13「気候変動に具体的な対策を」

ゴール	ターゲット	グローバルインディケーター
<p>13.1 全ての国々において、気候関連災害や自然災害に対する強靭性(レジリエンス)及び適応の能力を強化する。 Strengthen resilience and adaptive capacity to climate-related hazards and natural disasters in all countries</p>	<p>13.1.1 10万人当たりの災害による死者数、行方不明者数、直接的負傷者数 Number of deaths, missing persons and directly affected persons attributed to disasters per 100,000 population (repeat of 1.5.1 and 11.5.1)</p>	
<p>13.2 気候変動対策を国別の政策、戦略及び計画に盛り込む。 Integrate climate change measures into national policies, strategies and planning</p>	<p>13.1.2 仙台防災枠組み 2015-2030 に沿った国家レベルの防災戦略を採択し実行している国の数 Number of countries that adopt and implement national disaster risk reduction strategies in line with the Sendai Framework for Disaster Risk Reduction 2015-2030 (repeat of 1.5.3 and 11.b.1)</p>	
<p>13.3 気候変動の緩和、適応、影響軽減及び早期警戒に関する教育、啓発、人的能力及び制度機能を改善する。 Improve education, awareness-raising and human and institutional capacity on climate change mitigation, adaptation, impact reduction and early warning</p>	<p>13.1.3 仙台防災枠組み 2015-2030 に沿った地方レベルの防災戦略を採択し実行している地方政府の割合 Proportion of local governments that adopt and implement local disaster risk reduction strategies in line with national disaster risk reduction strategies (repeat of 1.5.4 and 11.b.2)</p>	
<p>13.2.1 気候変動の悪影響に適応し、食料生産を脅かさない方法で、気候強靭性や温室効果ガスの低排出型の発展を促進するための能力を増加させる統合的な政策/戦略/計画(国の適応計画、国が決定する貢献、国別報告書、隔年更新報告書その他を含む)の確立又は運用を報告している国の数 Number of countries that have communicated the establishment or operationalisation of an integrated policy/strategy/plan which increases their ability to adapt to the adverse impacts of climate change, and foster climate resilience and low greenhouse gas emissions development in a manner that does not threaten food production (including a national adaptation plan, nationally determined contribution, national communication, biennial update report or other)</p>	<p>13.2.2 気候変動の悪影響に適応し、食料生産を脅かさない方法で、気候強靭性や温室効果ガスの低排出型の発展を促進するための能力を増加させる統合的な政策/戦略/計画(国の適応計画、国が決定する貢献、国別報告書、隔年更新報告書その他を含む)の確立又は運用を報告している国の数 Number of countries that have communicated the establishment or operationalisation of an integrated policy/strategy/plan which increases their ability to adapt to the adverse impacts of climate change, and foster climate resilience and low greenhouse gas emissions development in a manner that does not threaten food production (including a national adaptation plan, nationally determined contribution, national communication, biennial update report or other)</p>	
<p>13.3.1 緩和、適応、影響軽減及び早期警戒を、初等、中等及び高等教育のカリキュラムに組み込んでいる国の数 Number of countries that have integrated mitigation, adaptation, impact reduction and early warning into primary, secondary and tertiary curricula</p>	<p>13.3.2 適応、緩和及び技術移転を実施するための制度上、システム上、及び個人における能力構築の強化や開発行動を報告している国の数 Number of countries that have communicated the strengthening of institutional, systemic and individual capacity-building to implement adaptation, mitigation and technology transfer, and development actions</p>	

ゴール 13. 気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる
Goal13. Take urgent action to combat climate change and its impacts

ローカル指標(LI)(案)		データ入手可能性	データソース
LI 13.1.1	災害等の自然外因による死亡者割合 (災害等の自然外因による死亡者数／総死亡者数)	都道府県	厚生労働省 「人口動態統計」 http://www.mhlw.go.jp/toukei/list/81-1a.html
LI 13.1.2	防災会議を設置している市区町村の割合	都道府県	総務省 「地方防災行政の現況」 http://www.fdma.go.jp/disaster/chihoubousai/
LI 13.1.3			
LI 13.2.1.1	温暖化対策地方実行計画における緩和策の策定有無	市区町村	環境省 「地方公共団体実行計画(区域施策編)策定支援サイト」 http://www.env.go.jp/policy/local_keikaku/kuiki/
LI 13.2.1.2	温暖化対策地方実行計画における気候変動適応計画の策定有無	都道府県	国立環境研究所 「気候変動適応情報プラットフォーム」 http://www.adaptation-platform.nies.go.jp/lets/local.html
LI 13.3.1	公民館における環境保全活動の実施数 (環境保全活動の実施数／公民館数)	都道府県	文部科学省 「社会教育調査」 http://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/chousa02/shakai/index.htm
LI 13.3.2.1	温暖化対策地方実行計画における緩和策の策定有無	市区町村	環境省 「地方公共団体実行計画(区域施策編)策定支援サイト」 http://www.env.go.jp/policy/local_keikaku/sakutei.html
LI 13.3.2.2	温暖化対策地方実行計画における気候変動適応計画の策定有無	都道府県	国立環境研究所 「気候変動適応情報プラットフォーム」 http://www.adaptation-platform.nies.go.jp/lets/local.html

13 気候変動に
具体的な対策を

Goal 13「気候変動に具体的な対策を」

ゴール	ターゲット	グローバルインディケーター
ゴール13. 気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる Goal13. Take urgent action to combat climate change and its impacts	<p>13.a 重要な緩和行動の実施とその実施における透明性確保に関する開発途上国のニーズに対応するため、2020 年までにあらゆる供給源から年間 1,000 億ドルを共同で動員するという、UNFCCC の先進締約国によるコミットメントを実施するとともに、可能な限り速やかに資本を投入して緑の気候基金を本格始動させる。</p> <p>Implement the commitment undertaken by developed-country parties to the United Nations Framework Convention on Climate Change to a goal of mobilizing jointly \$100 billion annually by 2020 from all sources to address the needs of developing countries in the context of meaningful mitigation actions and transparency on implementation and fully operationalize the Green Climate Fund through its capitalization as soon as possible</p>	<p>13.a.1 2020–2025 年の間に 1000 億 US ドルコミットメントを実現するために必要となる1年当たりに投資される総 US ドル Mobilized amount of United States dollars per year between 2020 and 2025 accountable towards the \$100 billion commitment</p>
	<p>13.b 後発開発途上国及び小島嶼開発途上国において、女性や青年、地方及び社会的に疎外されたコミュニティに焦点を当てるなどを含め、気候変動関連の効果的な計画策定と管理のための能力を向上するメカニズムを推進する。</p> <p>Promote mechanisms for raising capacity for effective climate change-related planning and management in least developed countries and small island developing States, including focusing on women, youth and local and marginalized communities</p>	<p>13.b.1 女性や青年、地方及び社会的に疎外されたコミュニティに焦点を当てるなどを含め、気候変動関連の効果的な計画策定と管理のための能力を向上させるメカニズムのために、専門的なサポートを受けている後発開発途上国や小島嶼開発途上国の数及び財政、技術、能力構築を含む支援総額 Number of least developed countries and small island developing States that are receiving specialized support, and amount of support, including finance, technology and capacity-building, for mechanisms for raising capacities for effective climate change-related planning and management, including focusing on women, youth, and local and marginalized communities</p>

ローカル指標(LI)(案)		データ入手可能性	データソース
LI 13.a.1	指標候補を調査中		
LI 13.b.1	指標候補を調査中		
LI 13.X	人口 1 人当たりの CO ₂ 排出量 (CO ₂ 排出量／総人口)	市区町村	環境省 「部門別 CO ₂ 排出量の現況推計」 https://www.env.go.jp/policy/local_keikaku/tools/suikei.html



Goal 14「海の豊かさを守ろう」

ゴール	ターゲット	グローバルインディケーター
ゴール14 持続可能な開発のために海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する Goal 14. Conserve and sustainably use the oceans, seas and marine resources for sustainable development	<p>14.1 2025 年までに、海洋ごみや富栄養化を含む、特に陸上活動による汚染など、あらゆる種類の海洋汚染を防止し、大幅に削減する。 By 2025, prevent and significantly reduce marine pollution of all kinds, in particular from land-based activities, including marine debris and nutrient pollution</p> <p>14.2 2020 年までに、海洋及び沿岸の生態系に関する重大な悪影響を回避するため、強靭性(レジリエンス)の強化などによる持続的な管理と保護を行い、健全で生産的な海洋を実現するため、海洋及び沿岸の生態系の回復のための取組を行う。 By 2020, sustainably manage and protect marine and coastal ecosystems to avoid significant adverse impacts, including by strengthening their resilience, and take action for their restoration in order to achieve healthy and productive oceans</p> <p>14.3 あらゆるレベルでの科学的協力の促進などを通じて、海洋酸性化の影響を最小限化し、対処する。 Minimize and address the impacts of ocean acidification, including through enhanced scientific cooperation at all levels</p> <p>14.4 水産資源を、実現可能な最短期間で少なくとも各資源の生物学的特性によって定められる最大持続生産量のレベルまで回復させるため、2020 年までに、漁獲を効果的に規制し、過剰漁業や違法・無報告・無規制(IUU)漁業及び破壊的な漁業慣行を終了し、科学的な管理計画を実施する。 By 2020, effectively regulate harvesting and end overfishing, illegal, unreported and unregulated fishing and destructive fishing practices and implement science-based management plans, in order to restore fish stocks in the shortest time feasible, at least to levels that can produce maximum sustainable yield as determined by their biological characteristics</p> <p>14.5 2020 年までに、国内法及び国際法に則り、最大限入手可能な科学情報に基づいて、少なくとも沿岸域及び海域の 10 パーセントを保全する。 By 2020, conserve at least 10 per cent of coastal and marine areas, consistent with national and international law and based on the best available scientific information</p>	<p>14.1.1 沿岸富栄養化指数 (ICEP) 及び浮遊プラスチックごみの密度 Index of coastal eutrophication and floating plastic debris density</p> <p>14.2.1 生態系ベースにアプローチを用いた管理が行われている国内の排他的経済水域の割合 Proportion of national exclusive economic zones managed using ecosystem-based approaches</p> <p>14.3.1 承認された代表標本抽出地点で測定された海洋酸性度(pH)の平均値 Average marine acidity (pH) measured at agreed suite of representative sampling stations</p> <p>14.4.1 生物学的に持続可能なレベルの水産資源の割合 Proportion of fish stocks within biologically sustainable levels</p> <p>14.5.1 海域に関する保護領域の範囲 Coverage of protected areas in relation to marine areas</p>

ローカル指標(LI)(案)		データ入手可能性	データソース
LI 14.1.1	指標候補を調査中		
LI 14.2.1	指標候補を調査中		
LI 14.3.1	指標候補を調査中		
LI 14.4.1	漁獲量及び養殖収穫量増減率 $((\text{漁獲量} + \text{養殖収穫量}) - (\text{前年度漁獲量} + \text{前年度養殖収穫量})) / \text{総人口}$	市区町村	農林水産省 「海面漁業生産統計調査」 http://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/kaimen_gyosei/index.html
LI 14.5.1	指標候補を調査中		



Goal 14「海の豊かさを守ろう」

ゴール	ターゲット	グローバルインディケーター
ゴール14. 持続可能な開発のために海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する Goal 14. Conserve and sustainably use the oceans, seas and marine resources for sustainable development	<p>14.6 開発途上国及び後発開発途上国に対する適切かつ効果的な、特別かつ異なる待遇が、世界貿易機関(WTO)漁業補助金交渉の不可分の要素であるべきことを認識した上で、2020年までに、過剰漁獲能力や過剰漁獲につながる漁業補助金を禁止し、違法・無報告・無規制(IUU)漁業につながる補助金を撤廃し、同様の新たな補助金の導入を抑制する。</p> <p>By 2020, prohibit certain forms of fisheries subsidies which contribute to overcapacity and overfishing, eliminate subsidies that contribute to illegal, unreported and unregulated fishing and refrain from introducing new such subsidies, recognizing that appropriate and effective special and differential treatment for developing and least developed countries should be an integral part of the World Trade Organization fisheries subsidies negotiation¹⁶</p>	<p>14.6.1 IUU 漁業 (Illegal (違法)・Unreported (無報告)・Unregulated (無規制))と対峙することを目的としている国際的な手段を実施する中における各国の進捗状況</p> <p>Progress by countries in the degree of implementation of international instruments aiming to combat illegal, unreported and unregulated fishing</p>
<p>14.7 2030年までに、漁業、水産養殖及び観光の持続可能な管理などを通じ、小島嶼開発途上国及び後発開発途上国の海洋資源の持続的な利用による経済的便益を増大させる。</p> <p>By 2030, increase the economic benefits to small island developing States and least developed countries from the sustainable use of marine resources, including through sustainable management of fisheries, aquaculture and tourism</p>	<p>14.7.1 小島嶼開発途上国、後発開発途上国及び全ての国々のGDPに占める持続可能な漁業の割合</p> <p>Sustainable fisheries as a proportion of GDP in small island developing States, least developed countries and all countries</p>	
<p>14.a 海洋の健全性の改善と、開発途上国、特に小島嶼開発途上国および後発開発途上国における海洋生物多様性の寄与向上のために、海洋技術の移転に関するユネスコ政府間海洋学委員会の基準・ガイドラインを勘案しつつ、科学的知識の増進、研究能力の向上、及び海洋技術の移転を行う。</p> <p>Increase scientific knowledge, develop research capacity and transfer marine technology, taking into account the Intergovernmental Oceanographic Commission Criteria and Guidelines on the Transfer of Marine Technology, in order to improve ocean health and to enhance the contribution of marine biodiversity to the development of developing countries, in particular small island developing States and least developed countries</p>	<p>14.a.1 総研究予算額に占める、海洋技術分野に割り当てられた研究予算の割合</p> <p>Proportion of total research budget allocated to research in the field of marine technology</p>	
<p>14.b 小規模・沿岸零細漁業者に対し、海洋資源及び市場へのアクセスを提供する。</p> <p>Provide access for small-scale artisanal fishers to marine resources and markets</p>	<p>14.b.1 小規模・零細漁業のためのアクセス権を認識し保護する法的/規制/政策/機関の枠組みの適応についての各国の進捗</p> <p>Progress by countries in the degree of application of a legal/regulatory/policy/institutional framework which recognizes and protects access rights for small-scale fisheries</p>	

ローカル指標(LI)(案)		データ入手可能性	データソース
LI 14.6.1	指標候補を調査中		
LI 14.7.1	指標候補を調査中		
LI 14.a.1	研究費当たりの海洋技術関連の研究費割合 (海洋技術関連の研究費／総研究費)	都道府県	農林水産省 「農林水産関係試験研究機関基礎調査」 http://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/kenkyu_kikan/
LI 14.b.1	指標候補を調査中		



Goal 14「海の豊かさを守ろう」

ゴール	ターゲット	グローバルインディケーター
	<p>14.c 「我々の求める未来」のパラ 158 において想起されるとおり、海洋及び海洋資源の保全及び持続可能な利用のための法的枠組みを規定する海洋法に関する国際連合条約(UNCLOS)に反映されている国際法を実施することにより、海洋及び海洋資源の保全及び持続可能な利用を強化する。</p> <p>Enhance the conservation and sustainable use of oceans and their resources by implementing international law as reflected in the United Nations Convention on the Law of the Sea, which provides the legal framework for the conservation and sustainable use of oceans and their resources, as recalled in paragraph 158 of “The future we want”</p>	<p>14.c.1 海洋及び海洋資源の保全と持続可能な利用のために「海洋法に関する国際連合条約(UNCLOS)」に反映されているとおり、国際法を実施する海洋関係の手段を、法、政策、機関的枠組みを通して、批准、導入、実施を推進している国の数</p> <p>Number of countries making progress in ratifying, accepting and implementing through legal, policy and institutional frameworks, ocean-related instruments that implement international law, as reflected in the United Nation Convention on the Law of the Sea, for the conservation and sustainable use of the oceans and their resources</p>

ローカル指標(LI)(案)		データ入手可能性	データソース
LI 14.c.1	水質汚濁防止法上の特定事業場数 (特定事業場数／総人口)	都道府県	環境省 「水質汚濁防止法等の施行状況」 https://www.env.go.jp/water/impure/law_chosa.html



Goal 15「陸の豊かさも守ろう」

ゴール	ターゲット	グローバルインディケーター
Goal15. Protect, restore and promote sustainable use of terrestrial ecosystems, sustainably manage forests, combat desertification, and halt and reverse land degradation and halt biodiversity loss	<p>15.1 2020 年までに、国際協定の下での義務に則って、森林、湿地、山地及び乾燥地をはじめとする陸域生態系と内陸淡水生態系及びそれらのサービスの保全、回復及び持続可能な利用を確保する。</p> <p>By 2020, ensure the conservation, restoration and sustainable use of terrestrial and inland freshwater ecosystems and their services, in particular forests, wetlands, mountains and drylands, in line with obligations under international agreements</p>	<p>15.1.1 土地全体に対する森林の割合 Forest area as a proportion of total land area</p> <p>15.1.2 陸生及び淡水性の生物多様性に重要な場所のうち保護区で網羅されている割合(保護地域、生態系のタイプ別) Proportion of important sites for terrestrial and freshwater biodiversity that are covered by protected areas, by ecosystem type</p>
ゴール15. 陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化の対処、並びに土地の劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止する	<p>15.2 2020 年までに、あらゆる種類の森林の持続可能な経営の実施を促進し、森林減少を阻止し、劣化した森林を回復し、世界全体で新規植林及び再植林を大幅に増加させる。</p> <p>By 2020, promote the implementation of sustainable management of all types of forests, halt deforestation, restore degraded forests and substantially increase afforestation and reforestation globally</p>	<p>15.2.1 持続可能な森林管理における進捗 Progress towards sustainable forest management</p>
	<p>15.3 2030 年までに、砂漠化に対処し、砂漠化、干ばつ及び洪水の影響を受けた土地などの劣化した土地と土壤を回復し、土地劣化に荷担しない世界の達成に尽力する。</p> <p>By 2030, combat desertification, restore degraded land and soil, including land affected by desertification, drought and floods, and strive to achieve a land degradation-neutral world</p>	<p>15.3.1 土地全体のうち劣化した土地の割合 Proportion of land that is degraded over total land area</p>
	<p>15.4 2030 年までに持続可能な開発に不可欠な便益をもたらす山地生態系の能力を強化するため、生物多様性を含む山地生態系の保全を確実に行う。</p> <p>By 2030, ensure the conservation of mountain ecosystems, including their biodiversity, in order to enhance their capacity to provide benefits that are essential for sustainable development</p>	<p>15.4.1 山地生物多様性のための重要な場所に占める保全された地域の範囲 Coverage by protected areas of important sites for mountain biodiversity</p> <p>15.4.2 山地グリーンカバー指数 Mountain Green Cover Index</p>
	<p>15.5 自然生息地の劣化を抑制し、生物多様性の損失を阻止し、2020 年までに絶滅危惧種を保護し、また絶滅防止するための緊急かつ意味のある対策を講じる。</p> <p>Take urgent and significant action to reduce the degradation of natural habitats, halt the loss of biodiversity and, by 2020, protect and prevent the extinction of threatened species</p>	<p>15.5.1 レッドリスト指数 Red List Index</p>
	<p>15.6 国際合意に基づき、遺伝資源の利用から生ずる利益の公正かつ衡平な配分を推進するとともに、遺伝資源への適切なアクセスを推進する。</p> <p>Promote fair and equitable sharing of the benefits arising from the utilization of genetic resources and promote appropriate access to such resources, as internationally agreed</p>	<p>15.6.1 利益の公正かつ衡平な配分を確保するための立法上、行政上及び政策上の枠組みを持つ国数 Number of countries that have adopted legislative, administrative and policy frameworks to ensure fair and equitable sharing of benefits</p>

ローカル指標(LI)(案)		データ入手可能性	データソース
LI 15.1.1	森林面積割合 (森林面積／総面積)	市区町村	農林水産省 「農林業センサス」 http://www.maff.go.jp/j/tokei/census/afc2015/280624.html
LI 15.1.2	指標候補を調査中		
LI 15.2.1	林業試験指導機関人員率 (林業試験指導機関人員／総人口)	都道府県	林野庁 「森林・林業統計要覧」 http://www.rinya.maff.go.jp/j/kikaku/toukei/youran_mokuzi.html
LI 15.3.1	耕作放棄地面積割合 (耕作放棄地面積／耕地面積)	市区町村	農林水産省 「農林業センサス」 http://www.maff.go.jp/j/tokei/census/afc/
LI 15.4.1	生物保全地域割合 ((鳥獣保護区面積+特別保護地区面積+特別保護指定区域面積)／森林面積)	都道府県	環境省 「鳥獣保護区の指定状況」 https://www.env.go.jp/nature/choju/area/area2.html
LI 15.4.2	指標候補を調査中		
LI 15.5.1	面積当たりの絶滅危惧種数 (絶滅危惧種数／総面積)	都道府県	環境省 「レッドリストデータブック-都道府県絶滅危惧種-」 https://ikilog.biodic.go.jp/Rdb/pref
LI 15.6.1	指標候補を調査中		



Goal 15「陸の豊かさも守ろう」

ゴール	ターゲット	グローバルインディケーター
Goal 15. Protect, restore and promote sustainable use of terrestrial ecosystems, sustainably manage forests, combat desertification, and halt and reverse land degradation and halt biodiversity loss ゴール 15. 陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処、並びに土地の劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止する	<p>15.7 保護の対象となっている動植物種の密猟及び違法取引を撲滅するための緊急対策を講じるとともに、違法な野生生物製品の需要と供給の両面に対処する。</p> <p>Take urgent action to end poaching and trafficking of protected species of flora and fauna and address both demand and supply of illegal wildlife products</p> <p>15.8 2020 年までに、外来種の侵入を防止するとともに、これらの種による陸域・海洋生態系への影響を大幅に減少させるための対策を導入し、さらに優先種の駆除または根絶を行う。</p> <p>By 2020, introduce measures to prevent the introduction and significantly reduce the impact of invasive alien species on land and water ecosystems and control or eradicate the priority species</p> <p>15.9 2020 年までに、生態系と生物多様性の価値を、国や地方の計画策定、開発プロセス及び貧困削減のための戦略及び会計に組み込む。</p> <p>By 2020, integrate ecosystem and biodiversity values into national and local planning, development processes, poverty reduction strategies and accounts</p> <p>15.a 生物多様性と生態系の保全と持続的な利用のために、あらゆる資金源からの資金の動員及び大幅な増額を行う。</p> <p>Mobilize and significantly increase financial resources from all sources to conserve and sustainably use biodiversity and ecosystems</p> <p>15.b 保全や再植林を含む持続可能な森林経営を推進するため、あらゆるレベルのあらゆる供給源から、持続可能な森林経営のための資金の調達と開発途上国への十分なインセンティブ付与のための相当量の資源を動員する。</p> <p>Mobilize significant resources from all sources and at all levels to finance sustainable forest management and provide adequate incentives to developing countries to advance such management, including for conservation and reforestation</p> <p>15.c 持続的な生計機会を追求するために地域コミュニティの能力向上を図る等、保護種の密猟及び違法な取引に対処するための努力に対する世界的な支援を強化する。</p> <p>Enhance global support for efforts to combat poaching and trafficking of protected species, including by increasing the capacity of local communities to pursue sustainable livelihood opportunities</p>	<p>15.7.1 密猟された野生生物又は違法に取引された野生生物の取引の割合 Proportion of traded wildlife that was poached or illicitly trafficked(repeat of 15.c.1)</p> <p>15.8.1 外来種に関する国内法を採択しており、侵略的外来種の防除や制御に必要な資金等を確保している国の割合 Proportion of countries adopting relevant national legislation and adequately resourcing the prevention or control of invasive alien species</p> <p>15.9.1 生物多様性戦略計画 2011–2020 の愛知目標の目標2に従って設定された国内目標に対する進捗 Progress towards national targets established in accordance with Aichi Biodiversity Target 2 of the Strategic Plan for Biodiversity 2011–2020</p> <p>15.a.1 生物多様性及び生態系の保全と持続的な利用に係る ODA 並びに公的支出 Official development assistance and public expenditure on conservation and sustainable use of biodiversity and ecosystems(repeat of 15.b.1)</p> <p>15.b.1 生物多様性及び生態系の保全と持続的な利用に係る ODA 並びに公的支出 Official development assistance and public expenditure on conservation and sustainable use of biodiversity and ecosystems(repeat of 15.a.1)</p> <p>15.c.1 密猟された野生生物又は違法に取引された野生生物の取引の割合 Proportion of traded wildlife that was poached or illicitly trafficked(repeat of 15.7.1)</p>

ローカル指標(LI)(案)		データ入手可能性	データソース
LI 15.7.1	指標候補を調査中		
LI 15.8.1	指標候補を調査中		
LI 15.9.1	生物多様性地域戦略に基づく計画の策定有無	市区町村	環境省 「生物多様性 Biodiversity」 http://www.biodic.go.jp/biodiversity/activity/local_gov/local/information.html
LI 15.a.1	指標候補を調査中		
LI 15.b.1	指標候補を調査中		
LI 15.c.1	指標候補を調査中		



Goal 16「平和と公正をすべての人に」

ゴール	ターゲット	グローバルインディケーター
Goal16. Promote peaceful and inclusive societies for sustainable development, provide access to justice for all and build effective, accountable and inclusive institutions at all levels	<p>16.1 あらゆる場所において、全ての形態の暴力及び暴力に関連する死亡率を大幅に減少させる。</p> <p>Significantly reduce all forms of violence and related death rates everywhere</p>	<p>16.1.1 10万人当たりの意図的な殺人行為による犠牲者の数(性別、年齢別)</p> <p>Number of victims of intentional homicide per 100,000 population, by sex and age</p>
		<p>16.1.2 10万人当たりの紛争関連の死者の数(性別、年齢、原因別)</p> <p>Conflict-related deaths per 100,000 population, by sex, age and cause</p>
		<p>16.1.3 過去12か月における身体的、精神的又は性的暴力を受けた人口の割合</p> <p>Proportion of population subjected to physical, psychological or sexual violence in the previous 12 months</p>
		<p>16.1.4 自身の居住区地域を一人で歩いても安全と感じる人口の割合</p> <p>Proportion of population that feel safe walking alone around the area they live</p>

ローカル指標(LI)(案)		データ入手可能性	データソース
LI 16.1.1	人口当たりの殺人認知件数 (殺人の認知件数／総人口)	都道府県	警視庁 「犯罪統計」 https://www.npa.go.jp/publications/statistics/sousa/year.html
LI 16.1.2	指標候補を調査中		
LI 16.1.3.1	人口当たりのわいせつ罪認知件数 (わいせつ罪認知件数／総人口)	都道府県	警視庁 「犯罪統計」 https://www.npa.go.jp/publications/statistics/sousa/year.html
LI 16.1.3.2	学校での暴力行為発生件数(1,000 人当たり)	都道府県	文部科学省 「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」 http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/seitoshidou/1302902.htm
LI 16.1.4.1	人口当たりの刑法犯認知件数 (刑法犯認知件数／総人口)	都道府県	警視庁 「犯罪統計」 https://www.npa.go.jp/publications/statistics/sousa/year.html
LI 16.1.4.2	人口当たりの街頭犯罪認知件数(粗暴犯・強制わいせつ合計値) (該当犯罪認知件数／総人口)	都道府県	警視庁 「犯罪統計」 https://www.npa.go.jp/publications/statistics/sousa/year.html



Goal 16「平和と公正をすべての人に」

ゴール	ターゲット	グローバルインディケーター
Goal 16. 持続可能な開発のための平和で包摂的な社会を促進し、全ての人々に司法への平等なアクセスを提供して、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包摂的な制度を構築する	<p>16.2 子供に対する虐待、搾取、取引及びあらゆる形態の暴力及び拷問を撲滅する。 End abuse, exploitation, trafficking and all forms of violence against and torture of children</p>	<p>16.2.1 過去 1か月における保護者等からの身体的な暴力及び/又は心理的な攻撃を受けた1歳～17歳の子供の割合 Proportion of children aged 1-17 years who experienced any physical punishment and/or psychological aggression by caregivers in the past month</p>
		<p>16.2.2 10万人当たりの人身取引の犠牲者の数(性別、年齢、搾取形態別) Number of victims of human trafficking per 100,000 population, by sex, age and form of exploitation</p>
	<p>16.3 国家及び国際的なレベルでの法の支配を促進し、全ての人々に司法への平等なアクセスを提供する。 Promote the rule of law at the national and international levels and ensure equal access to justice for all</p>	<p>16.2.3 18歳までに性的暴力を受けた18～29歳の若年女性及び男性の割合 Proportion of young women and men aged 18- 29 years who experienced sexual violence by age 18</p>
		<p>16.3.1 過去12か月間に暴力を受け、所管官庁又はその他の公的に承認された紛争解決機構に対して、被害を届け出た者の割合 Proportion of victims of violence in the previous 12 months who reported their victimization to competent authorities or other officially recognized conflict resolution mechanisms</p>
		<p>16.3.2 刑務所の総収容者数に占める判決を受けていない勾留者の割合 Unsentenced detainees as a proportion of overall prison population</p>

ローカル指標(LI)(案)		データ入手可能性	データソース
LI 16.2.1.1	20歳未満人口当たりの児童虐待相談の対応件数 (児童虐待相談の対応件数／20歳未満人口)	都道府県	厚生労働省 「福祉行政報告例」 https://www.mhlw.go.jp/toukei/list/38-1.html
LI 16.2.1.2	子育て支援に関する情報提供を実施している割合	都道府県	厚生労働省 「地域児童福祉事業等調査」 https://www.mhlw.go.jp/toukei/list/25-20.html
LI 16.2.2	人口当たりの略奪誘拐罪・人身売買の認知件数 (略奪誘拐罪・人身売買の認知件数／総人口)	都道府県	警視庁 「犯罪統計」 https://www.npa.go.jp/publications/statistics/sousa/year.html
LI 16.2.3	20歳未満当たりの児童虐待相談(性的虐待)の対応件数 (児童虐待相談(性的虐待)の対応件数／20歳未満人口)	都道府県	厚生労働省 「福祉行政報告例」 https://www.mhlw.go.jp/toukei/list/38-1.html
LI 16.3.1.1	人口当たりの粗暴犯の認知件数 (粗暴犯の認知件数／総人口)	都道府県	警視庁 「犯罪統計」 https://www.npa.go.jp/publications/statistics/sousa/year.html
LI 16.3.1.2	刑法犯検挙率	都道府県	警視庁 「犯罪統計」 https://www.npa.go.jp/publications/statistics/sousa/year.html
LI 16.3.1.3	窃盗検挙率	都道府県	警視庁 「犯罪統計」 https://www.npa.go.jp/publications/statistics/sousa/year.html
LI 16.3.2	指標候補を調査中		



Goal 16「平和と公正をすべての人に」

ゴール	ターゲット	グローバルインディケーター
ゴール16. 持続可能な開発のための平和で包摂的な社会を促進し、全ての人々に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包摂的な制度を構築する	<p>16.4 2030 年までに、違法な資金及び武器の取引を大幅に減少させ、奪われた財産の回復及び返還を強化し、あらゆる形態の組織犯罪を根絶する。</p> <p>By 2030, significantly reduce illicit financial and arms flows, strengthen the recovery and return of stolen assets and combat all forms of organized crime</p>	<p>16.4.1 内外の違法な資金フローの合計額(US ドル) Total value of inward and outward illicit financial flows (in current United States dollars)</p>
Goal16. Promote peaceful and inclusive societies for sustainable development, provide access to justice for all and build effective, accountable and inclusive institutions at all levels	<p>16.5 あらゆる形態の汚職や贈賄を大幅に減少させる。</p> <p>Substantially reduce corruption and bribery in all their forms</p>	<p>16.4.2 國際基準及び手段に従って、適格な権威によって突き止められた、もしくは確立された違法な起源もしくは文脈によって捕らえられ、発見されもしくは引き渡された武器 Proportion of seized, found or surrendered arms whose illicit origin or context has been traced or established by a competent authority in line with international instruments</p>
Goal16. Promote peaceful and inclusive societies for sustainable development, provide access to justice for all and build effective, accountable and inclusive institutions at all levels	<p>16.6 あらゆるレベルにおいて、有効で説明責任のある透明性の高い公共機関を発展させる。</p> <p>Develop effective, accountable and transparent institutions at all levels</p>	<p>16.5.1 過去 12 か月間に公務員に賄賂を支払った又は公務員より賄賂を要求されたことが少なくとも1回はあった人の割合 Proportion of persons who had at least one contact with a public official and who paid a bribe to a public official, or were asked for a bribe by these public officials during the previous 12 months</p>
Goal16. Promote peaceful and inclusive societies for sustainable development, provide access to justice for all and build effective, accountable and inclusive institutions at all levels	<p>16.6.2 過去 12 か月間に公務員に賄賂を支払った又は公務員より賄賂を要求されたことが少なくとも1回はあった企業の割合 Proportion of businesses that had at least one contact with a public official and that paid a bribe to a public official, or were asked for a bribe by those public officials during the previous 12 months</p>	
Goal16. Promote peaceful and inclusive societies for sustainable development, provide access to justice for all and build effective, accountable and inclusive institutions at all levels	<p>16.7 あらゆるレベルにおいて、対応的、包摂的、参加型及び代表的な意思決定を確保する。</p> <p>Ensure responsive, inclusive, participatory and representative decision-making at all levels</p>	<p>16.6.1 当初承認された予算に占める第一次政府支出(部門別、(予算別又は類似の分類別)) Primary government expenditures as a proportion of original approved budget, by sector (or by budget codes or similar)</p>
Goal16. Promote peaceful and inclusive societies for sustainable development, provide access to justice for all and build effective, accountable and inclusive institutions at all levels	<p>16.7.1 国全体と比較して、公的機関(国及び地方議会、行政事務、司法)におけるポジション(性別、年齢別、障害者別、人口グループ別)の割合 Proportions of positions (by sex, age, persons with disabilities and population groups) in public institutions (national and local legislatures, public service, and judiciary) compared to national distributions</p>	
Goal16. Promote peaceful and inclusive societies for sustainable development, provide access to justice for all and build effective, accountable and inclusive institutions at all levels	<p>16.7.2 意思決定が包括的かつ反映されるものであると考えている人の割合(性別、年齢、障害者、人口グループ別) Proportion of population who believe decision-making is inclusive and responsive, by sex, age, disability and population group</p>	
Goal16. Promote peaceful and inclusive societies for sustainable development, provide access to justice for all and build effective, accountable and inclusive institutions at all levels	<p>16.8 グローバル・ガバナンス機関への開発途上国の参加を拡大・強化する。</p> <p>Broaden and strengthen the participation of developing countries in the institutions of global governance</p>	<p>16.8.1 国際機関における開発途上国のメンバー数及び投票権の割合 Proportion of members and voting rights of developing countries in international organizations(repeat of 10.6.1)</p>

ローカル指標(LI)(案)		データ入手可能性	データソース
LI 16.4.1	人口当たりの賭博認知件数 (賭博認知件数／総人口)	都道府県	警視庁 「犯罪統計」 https://www.npa.go.jp/publications/statistics/sousa/year.html
LI 16.4.2	人口当たりの組織的な犯罪の処罰及び犯罪収益の規制に関する法律の認知件数 (組織的な犯罪の処罰及び犯罪収益の規制に関する法律の認知件数／総人口)	都道府県	警視庁 「犯罪統計」 https://www.npa.go.jp/publications/statistics/sousa/year.html
LI 16.5.1	人口当たりの賄賂罪の認知件数 (賄賂罪の認知件数／総人口)	都道府県	警視庁 「犯罪統計」 https://www.npa.go.jp/publications/statistics/sousa/year.html
LI 16.5.2			
LI 16.6.1	指標候補を調査中		
LI 16.6.2	指標候補を調査中		
LI 16.7.1	都道府県議会議員の女性の割合 (女性の都道府県議会議員数／都道府県議会議員数)	都道府県	総務省 「地方公共団体の議会の議員及び長の所属党派別人員調」 http://www.soumu.go.jp/senkyo/senkyo_s/data/syozoku/ichiran.html
LI 16.7.2	指標候補を調査中		
LI 16.8.1	指標候補を調査中		



Goal 16「平和と公正をすべての人に」

ゴール	ターゲット	グローバルインディケーター
ゴール16 持続可能な開発のための平和で包摂的な社会を促進し、全ての人々に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包摂的な制度を構築する Goal 16. Promote peaceful and inclusive societies for sustainable development, provide access to justice for all and build effective, accountable and inclusive institutions at all levels	<p>16.9 2030 年までに、全ての人々に出生登録を含む法的な身分証明を提供する。 By 2030, provide legal identity for all, including birth registration</p>	<p>16.9.1 行政機関に出生登録された5歳以下の子供の数(年齢別) Proportion of children under 5 years of age whose births have been registered with a civil authority, by age</p>
	<p>16.10 国内法規及び国際協定に従い、情報への公共アクセスを確保し、基本的自由を保障する。 Ensure public access to information and protect fundamental freedoms, in accordance with national legislation and international agreement</p>	<p>16.10.1 過去 12 か月間に殺人、誘拐、強制された失踪、任意による勾留、ジャーナリスト、メディア関係者、労働組合及び人権活動家の拷問について立証された事例の数 Number of verified cases of killing, kidnapping, enforced disappearance, arbitrary detention and torture of journalists, associated media personnel, trade unionists and human rights advocates in the previous 12 months</p> <p>16.10.2 情報への公共アクセスを保障した憲法、法令、政策の実施を採択している国の数 Number of countries that adopt and implement constitutional, statutory and/or policy guarantees for public access to information</p>
	<p>16.a 特に開発途上国において、暴力の防止とテロリズム・犯罪の撲滅に関するあらゆるレベルでの能力構築のため、国際協力などを通じて関連国家機関を強化する。 Strengthen relevant national institutions, including through international cooperation, for building capacity at all levels, in particular in developing countries, to prevent violence and combat terrorism and crime</p>	<p>16.a.1 パリ原則に準拠した独立した国立人権機関の存在の有無 Existence of independent national human rights institutions in compliance with the Paris Principles</p>
	<p>16.b 持続可能な開発のための非差別的な法規及び政策を推進し、実施する。 Promote and enforce non-discriminatory laws and policies for sustainable development</p>	<p>16.b.1 過去 12 か月に個人的に国際人権法の下に禁止されている差別又は嫌がらせを感じたと報告した人口の割合 Proportion of population reporting having personally felt discriminated against or harassed in the previous 12 months on the basis of a ground of discrimination prohibited under international human rights law(repeat of 10.3.1)</p>

ローカル指標(LI)(案)		データ入手可能性	データソース
LI 16.9.1	5歳未満人口割合 (5歳未満人口／総人口)	市区町村	総務省 「国勢調査」 http://www.stat.go.jp/data/kokusei/2015/index.htm
LI 16.10.1	指標候補を調査中		
LI 16.10.2	指標候補を調査中		
LI 16.a.1	指標候補を調査中		
LI 16.b.1	指標候補を調査中		



Goal 17「パートナーシップで目標を達成しよう」

ゴール	ターゲット	グローバルインディケーター
Goal 17. Strengthen the means of implementation and revitalize the global partnership for sustainable development	<p>資金/Finance</p> <p>17.1 課税及び徴税能力の向上のため、開発途上国への国際的な支援なども通じて、国内資源の動員を強化する。</p> <p>Strengthen domestic resource mobilization, including through international support to developing countries, to improve domestic capacity for tax and other revenue collection</p> <p>17.2 先進国は、開発途上国に対するODAをGNI比0.7%に、後発開発途上国に対するODAをGNI比0.15~0.20%にするという目標を達成するとの多くの国によるコミットメントを含むODAに係るコミットメントを完全に実施する。ODA供与国が、少なくともGNI比0.20%のODAを後発開発途上国に供与するという目標の設定を検討することを奨励する。</p> <p>Developed countries to implement fully their official development assistance commitments, including the commitment by many developed countries to achieve the target of 0.7 per cent of gross national income for official development assistance (ODA/GNI) to developing countries and 0.15 to 0.20 per cent of ODA/GNI to least developed countries; ODA providers are encouraged to consider setting a target to provide at least 0.20 per cent of ODA/GNI to least developed countries</p> <p>17.3 複数の財源から、開発途上国のための追加的資金源を動員する。</p> <p>Mobilize additional financial resources for developing countries from multiple sources</p>	<p>17.1.1 GDPに占める政府歳入合計の割合(収入源別) Total government revenue as a proportion of GDP, by source</p> <p>17.1.2 国内予算における、自国内の税収が資金源となっている割合 Proportion of domestic budget funded by domestic taxes</p> <p>17.2.1 OECD/DACによる寄与のGNIに占める純ODA総額及び後発開発途上国を対象にした額 Net official development assistance, total and to least developed countries, as a proportion of the Organization for Economic Cooperation and Development (OECD) Development Assistance Committee donors' gross national income (GNI)</p> <p>17.3.1 海外直接投資(FDI)、ODA及び南南協力の国内総予算に占める割合 Foreign direct investments (FDI), official development assistance and South-South Cooperation as a proportion of total domestic budget</p> <p>17.3.2 GDP総額に占める送金額(USドル) Volume of remittances (in United States dollars) as a proportion of total GDP</p>

ローカル指標(LI)(案)		データ入手可能性	データソース
LI 17.1.1	指標候補を調査中		
LI 17.1.2.1	財政力指数	市区町村	総務省 「地方財政状況調査関係資料」 http://www.soumu.go.jp/iken/shihyo_ichiran.html
LI 17.1.2.2	地方税割合 (対歳入決算総額)	都道府県	総務省 「地方財政状況調査関係資料」 http://www.soumu.go.jp/iken/kessan_jokyo_1.html
LI 17.1.2.3	自主財源の割合 (対歳出決算総額)	都道府県	総務省 「地方財政状況調査関係資料」 http://www.soumu.go.jp/iken/shihyo_ichiran.html
LI 17.2.1	指標候補を調査中		
LI 17.3.1	指標候補を調査中		
LI 17.3.2	指標候補を調査中		

17 パートナーシップで目標を達成しよう



Goal 17「パートナーシップで目標を達成しよう」

ゴール	ターゲット	グローバルインディケーター
Goal 17. Strengthen the means of implementation and revitalize the global partnership for sustainable development ゴール 17. 持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する	<p>17.4 必要に応じた負債による資金調達、債務救済及び債務再編の促進を目的とした協調的な政策により、開発途上国の長期的な債務の持続可能性の実現を支援し、重債務貧困国(HIPC)の対外債務への対応により債務リスクを軽減する。</p> <p>Assist developing countries in attaining long-term debt sustainability through coordinated policies aimed at fostering debt financing, debt relief and debt restructuring, as appropriate, and address the external debt of highly indebted poor countries to reduce debt distress</p>	<p>17.4.1 財及びサービスの輸出額に占める債務額 Debt service as a proportion of exports of goods and services</p>
	<p>17.5 後発開発途上国のために投資促進枠組みを導入及び実施する。</p> <p>Adopt and implement investment promotion regimes for least developed countries</p>	<p>17.5.1 後発開発途上国のために投資促進枠組みを導入及び実施している国数 Number of countries that adopt and implement investment promotion regimes for least developed countries</p>
	<p>技術/Technology</p> <p>17.6 科学技術イノベーション(STI)及びこれらへのアクセスに関する南北協力、南南協力及び地域的・国際的な三角協力を向上させる。また、国連レベルをはじめとする既存のメカニズム間の調整改善や、全世界的な技術促進メカニズムなどを通じて、相互に合意した条件において知識共有を進める。</p> <p>Enhance North-South, South-South and triangular regional and international cooperation on and access to science, technology and innovation and enhance knowledge sharing on mutually agreed terms, including through improved coordination among existing mechanisms, in particular at the United Nations level, and through a global technology facilitation mechanism</p>	<p>17.6.1 各国間における科学技術協力協定及び計画の数(協力形態別) Number of science and/or technology cooperation agreements and programmes between countries, by type of cooperation</p> <p>17.6.2 100人当たりの固定インターネットブロードバンド契約数(回線速度別) Fixed Internet broadband subscriptions per 100 inhabitants, by speed</p>
	<p>17.7 開発途上国に対し、譲許的・特恵的条件などの相互に合意した有利な条件の下で、環境に配慮した技術の開発、移転、普及及び拡散を促進する。</p> <p>Promote the development, transfer, dissemination and diffusion of environmentally sound technologies to developing countries on favourable terms, including on concessional and preferential terms, as mutually agreed</p>	<p>17.7.1 環境に配慮した技術の開発、移転、普及及び拡散の促進を目的とした開発途上国のために承認された基金の総額 Total amount of approved funding for developing countries to promote the development, transfer, dissemination and diffusion of environmentally sound technologies</p>
	<p>17.8 2017年までに、後発開発途上国のために技術バンク及び科学技術イノベーション能力構築メカニズムを完全運用させ、情報通信技術(ICT)をはじめとする実現技術の利用を強化する。</p> <p>Fully operationalize the technology bank and science, technology and innovation capacity-building mechanism for least developed countries by 2017 and enhance the use of enabling technology, in particular information and communications technology</p>	<p>17.8.1 インターネットを使用している個人の割合 Proportion of individuals using the Internet</p>

ローカル指標(LI)(案)		データ入手可能性	データソース
LI 17.4.1	実質公債費比率	市区町村	総務省 「地方財政状況調査関係資料」 http://www.soumu.go.jp/iken/shihyo_ichiran.html
LI 17.5.1	指標候補を調査中		
LI 17.6.1	指標候補を調査中		
LI 17.6.2	世帯当たりのインターネットブロードバンド契約率	都道府県	総務省 「情報通信白書」 http://www.soumu.go.jp/johotsusintokei/whitepaper/index.html
LI 17.7.1	指標候補を調査中		
LI 17.8.1	インターネット普及率	都道府県	総務省 「情報通信白書」 http://www.soumu.go.jp/johotsusintokei/whitepaper/index.html

17 パートナーシップで目標を達成しよう



Goal 17「パートナーシップで目標を達成しよう」

ゴール	ターゲット	グローバルインディケーター
Goal 17. 持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバルパートナーシップを活性化する Goal17. Strengthen the means of implementation and revitalize the global partnership for sustainable development	能力構築/Capacity-building 17.9 全ての持続可能な開発目標を実施するための国家計画を支援するべく、南北協力、南南協力及び三角協力などを通じて、開発途上国における効果的かつ的をしづつた能力構築の実施に対する国際的な支援を強化する。 Enhance international support for implementing effective and targeted capacity-building in developing countries to support national plans to implement all the Sustainable Development Goals, including through North-South, South-South and triangular cooperation	17.9.1 開発途上国にコミットした資金及び技術援助(南北、南南及び三角協力)のドル額 Dollar value of financial and technical assistance (including through North-South, South-South and triangular cooperation) committed to developing countries
	貿易/Trade 17.10 ドーハ・ラウンド(DDA)交渉の受諾を含むWTOの下での普遍的でルールに基づいた、差別的でない、公平な多角的貿易体制を促進する。 Promote a universal, rules-based, open, non-discriminatory and equitable multilateral trading system under the World Trade Organization, including through the conclusion of negotiations under its Doha Development Agenda	17.10.1 世界中で加重された関税額の平均 Worldwide weighted tariff-average
	17.11 開発途上国による輸出を大幅に増加させ、特に2020年までに世界の輸出に占める後発開発途上国のシェアを倍増させる。 17.11 Significantly increase the exports of developing countries, in particular with a view to doubling the least developed countries' share of global exports by 2020	17.11.1 世界の輸出額シェアに占める開発途上国と後発開発途上国の割合 Developing countries' and least developed countries' share of global exports
	17.12 後発開発途上国からの輸入に対する特恵的な原産地規則が透明で簡略的かつ市場アクセスの円滑化に寄与するものとなるようにすることを含む世界貿易機関(WTO)の決定に矛盾しない形で、全ての後発開発途上国に対し、永続的な無税・無枠の市場アクセスを適時実施する。 Realize timely implementation of duty-free and quota-free market access on a lasting basis for all least developed countries, consistent with World Trade Organization decisions, including by ensuring that preferential rules of origin applicable to imports from least developed countries are transparent and simple, and contribute to facilitating market access	17.12.1 開発途上国、後発開発途上国及び小島嶼開発途上国が直面している関税の平均 Average tariffs faced by developing countries, least developed countries and small island developing States
	体制面/Systemic issues 政策・制度的整合性/Policy and institutional coherence 17.13 政策協調や政策の首尾一貫性などを通じて、世界的なマクロ経済の安定を促進する。 Enhance global macroeconomic stability, including through policy coordination and policy coherence	17.13.1 マクロ経済ダッシュボード Macroeconomic Dashboard
	17.14 持続可能な開発のための政策の一貫性を強化する。 Enhance policy coherence for sustainable development	17.14.1 持続可能な開発の政策の一貫性を強化するためのメカニズムがある国数 Number of countries with mechanisms in place to enhance policy coherence of sustainable development

ローカル指標(LI)(案)		データ入手可能性	データソース
LI 17.9.1	指標候補を調査中		
LI 17.10.1	指標候補を調査中		
LI 17.11.1	指標候補を調査中		
LI 17.12.1	指標候補を調査中		
LI 17.13.1	指標候補を調査中		
LI 17.14.1	指標候補を調査中		

17 パートナーシップで目標を達成しよう



Goal 17「パートナーシップで目標を達成しよう」

ゴール	ターゲット	グローバルインディケーター
ゴール 17. 持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する Goal 17. Strengthen the means of implementation and revitalize the global partnership for sustainable development	<p>17.15 貧困撲滅と持続可能な開発のための政策の確立・実施にあたっては、各国の政策空間及びリーダーシップを尊重する。 Respect each country's policy space and leadership to establish and implement policies for poverty eradication and sustainable development</p> <p>マルチステークホルダー・パートナーシップ/ Multi-stakeholder partnerships</p> <p>17.16 全ての国々、特に開発途上国での持続可能な開発目標の達成を支援すべく、知識、専門的知見、技術及び資金源を動員、共有するマルチステークホルダー・パートナーシップによって補完しつつ、持続可能な開発のためのグローバル・パートナーシップを強化する。 Enhance the Global Partnership for Sustainable Development, complemented by multi-stakeholder partnerships that mobilize and share knowledge, expertise, technology and financial resources, to support the achievement of the Sustainable Development Goals in all countries, in particular developing countries</p> <p>17.17 さまざまなパートナーシップの経験や資源戦略を基にした、効果的な公的、官民、市民社会のパートナーシップを奨励・推進する。 Encourage and promote effective public, public-private and civil society partnerships, building on the experience and resourcing strategies of partnerships</p> <p>データ、モニタリング、説明責任/ Data, monitoring and accountability</p> <p>17.18 2020 年までに、後発開発途上国及び小島嶼開発途上国を含む開発途上国に対する能力構築支援を強化し、所得、性別、年齢、人種、民族、居住資格、障害、地理的位置及びその他各国情事情に関連する特性別の質が高く、タイムリーかつ信頼性のある非集計型データの入手可能性を向上させる。 By 2020, enhance capacity-building support to developing countries, including for least developed countries and small island developing States, to increase significantly the availability of high-quality, timely and reliable data disaggregated by income, gender, age, race, ethnicity, migratory status, disability, geographic location and other characteristics relevant in national contexts</p> <p>17.19 2030 年までに、持続可能な開発の進捗状況を測る GDP 以外の尺度を開発する既存の取組を更に前進させ、開発途上国における統計に関する能力構築を支援する。 By 2030, build on existing initiatives to develop measurements of progress on sustainable development that complement gross domestic product, and support statistical capacity-building in developing countries</p>	<p>17.15.1 開発協力提供者による国有の結果枠組み及び計画ツールの利用範囲 Extent of use of country-owned results frameworks and planning tools by providers of development cooperation</p> <p>17.16.1 持続可能な開発目標の達成を支援するマルチステークホルダー開発有効性モニタリング枠組みにおいて進捗を報告する国数 Number of countries reporting progress in multi-stakeholder development effectiveness monitoring frameworks that support the achievement of the sustainable development goals</p> <p>17.17.1 官民、市民社会のパートナーシップにコミットした US ドルの総額 Amount of United States dollars committed to public-private and civil society partnerships</p> <p>17.18.1 公的統計の基本原則に従い、ターゲットに関する場合に、各国レベルで完全に詳細集計されて作成された SDG 指標の割合 Proportion of sustainable development indicators produced at the national level with full disaggregation when relevant to the target, in accordance with the Fundamental Principles of Official Statistics</p> <p>17.18.2 公的統計の基本原則に準じた国家統計法のある国数 Number of countries that have national statistical legislation that complies with the Fundamental Principles of Official Statistics</p> <p>17.18.3 十分な資金提供とともに実施されている国家統計計画を持つ国数(資金源別) Number of countries with a national statistical plan that is fully funded and under implementation, by source of funding</p> <p>17.19.1 開発途上国における統計能力の強化のために利用可能となった資源のドル額 Dollar value of all resources made available to strengthen statistical capacity in developing countries</p> <p>17.19.2 a)少なくとも過去 10 年に人口・住宅センサスを実施した国の割合 b)出生届が 100% 登録され、死亡届が 80% 登録された国々の割合 Proportion of countries that (a) have conducted at least one population and housing census in the last 10 years; and (b) have achieved 100 per cent birth registration and 80 per cent death registration</p>

ローカル指標(LI)(案)		データ入手可能性	データソース
LI 17.15.1	指標候補を調査中		
LI 17.16.1	指標候補を調査中		
LI 17.17.1	地域サポートセンターを設置している市区町村の割合	都道府県	消費者庁 「地方消費者行政の現状」 https://www.caa.go.jp/policies/policy/local_cooperation/local_consumer_administration/status_investigation/
LI 17.18.1	指標候補を調査中		
LI 17.18.2	指標候補を調査中		
LI 17.18.3	指標候補を調査中		
LI 17.19.1	指標候補を調査中		
LI 17.19.2	指標候補を調査中		

ローカル指標リストの中で頻出するデータの出典（データソース）

データ名	データソース
人口	
世帯数	
面積	総務省 「国勢調査」 http://www.stat.go.jp/data/kokusei/2015/index.htm
就業者数	
歳出	総務省 「市町村別決算状況調」 http://www.soumu.go.jp/iken/kessan_jokyo_2.html
CO ₂ 排出量	環境省 「地方公共団体実行計画(区域施策編)策定支援サイト」 http://www.env.go.jp/policy/local_keikaku/kuiki/tools/suikei.html
県内総生産	内閣府 「県民経済計算」 http://www.esri.cao.go.jp/jp/sna/data/data_list/kenmin/files/contents/main_h26.html

【自治体ＳＤＧｓ推進のためのローカル指標検討WG】

村上 周三 一般財団法人建築環境・省エネルギー機構 理事長

川久保 俊 法政大学 デザイン工学部建築学科 准教授

蟹江 憲史 慶應義塾大学 大学院政策・メディア研究科 教授

藤田 壮 国立研究開発法人 国立環境研究所 社会環境システム研究センター長